

商学研究所報

2012年11月

明治期中小銀行の預金分析
——滋賀県柏原銀行の事例——

麻島 昭一

明治期中小銀行の預金分析

——滋賀県柏原銀行の事例——

麻 島 昭 一

On the Deposit of Kashiwabara Bank in
Shiga Prefecture, 1901~1912

Shoichi Asajima

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 柏原銀行の概要 <ul style="list-style-type: none"> 1) 柏原銀行の設立 2) 滋賀県銀行業における位置 3) 支店等の存在状況 3. 柏原銀行の預金構成とその内容 <ul style="list-style-type: none"> 1) 預貸金の推移 2) 預金構成とその内容 <ul style="list-style-type: none"> (1) 当座預金 (2) 別段預金 (3) 公金預金 (4) 小口当座預金 (5) 定期預金 | <ul style="list-style-type: none"> 4. 定期預金の分析 <ul style="list-style-type: none"> 1) 期間別構成 2) 受入金額別構成 3) 定期預金者の職業別構成 4) 地域別構成 5) 継続性 6) 定期預金者の性格
[役員・株主][資産家][大口預金者] 5. むすび |
|---|---|

1. はじめに

本稿は滋賀県の小銀行＝柏原銀行の預金分析を目的とする。この分析の背景および問題意識は次のようである。

個別銀行の史的研究では、内部資料に依拠して次第に資金運用、特に貸付の実態まで解明されるようになってきた。たしかに貸金面での実態分析は進展しているが、銀行にとってもう一つの重要な側面、つまり預金面の分析が行われていないままである。銀行が集積した預金はいかなる社会階層から得られたものであり、いかなる性格の資金であるのか、どのように集積されたのかが問題であり、銀行の資金源泉についての実態が解明されねばなるまい。預金分析の必要性は認識されていても、主として営業報告書に依存する研究段階では、実態把握の手掛かりは掴めない。筆者は残されていた銀行帳簿に着目し、そこに含まれている個々の預金データを手掛かりに預金分析を推進することにした。これまでに分析できたのは、それぞれ限られた時期ではあるが、八幡銀行の定期預金と当座預金、百三十三銀行の定期預金、三井銀行の定期預金であった⁽¹⁾。筆者の預金分析では、銀行帳簿が残存する銀行に限定されざるを得なかったのが実情であるが、今回、柏原銀行の銀行帳簿が利用可能となったので、預金の事例分析を追加できるわけである。

預金形成の実態分析といっても、預金には当座預金、小口当座預金、定期預金、別段預金、公金預金などいくつかの預金種目があり、それぞれについて内容把握、形成のされ方が考察されねばならない。しかし全種目を一挙に解明することは、預金帳簿等の残存状況、種目による分析方法の違いなどから困難なため、預金構成上最大の比重を占め、資料的に分析可能な定期預金を優先することにしたわけである⁽²⁾。

本稿でも、ひとつには柏原銀行の定期預金分析を行うが、「定期預金記入帳」に依存し、すでに八幡銀行でおこなった分析方法を踏襲した(拙稿「明治期地方銀行の定期預金の性格—滋賀県八幡銀行の事例」を参照)。

さらに、本稿では同行の当座預金、小口当座預金、別段預金、公金預金についても、その内容、形成のされ方なども解明する。

なお、考察は資料的制約から同行成立の明治34年から45年まで、つまり明治期の諸預金に限定されるが、それ以後は別途の考察にゆだねたい。

(1) 筆者がこれまで行った預金分析は次のようである。

「明治期地方銀行の定期預金の性格—滋賀県八幡銀行の事例」『金融経済』第175号、1979年4月

「明治末・大正初期の八幡銀行定期預金の分析—電子計算機使用による実証的研究」『金融経済』第190号、1981年10月

「大正期における八幡銀行定期預金分析」『金融経済』第202号、1983年10月

「明治初期八幡銀行の定期預金の形成」『専修経営学論集』第62号、1996年3月

「明治初期八幡銀行の当座預金の形成—近江八幡商人の取引関係を含めて」『専修大学経営学研究所報』第116号、1995年11月

「第百三十三国立銀行の定期預金—明治19～24年の帳簿による分析」『専修経営学論集』1999年3月

「明治中期の三井銀行の定期預金—明治22年～24年帳簿からの実証分析」『専修経営学論集』第65号、1998年1月

(2) もともと我が国の銀行の預金構成上、定期預金の比重が高いことが指摘され、経済の発展段階に照応して生産過程から遊離した投資性資金が蓄積された結果とされている。しかし実証なしのその推論には疑問があり、前提として定期預金の実態把握が先行すべきであろう。定期預金が投資性資金の集積として資金源泉において最重要な存在であることに加え、この推論にこたえるためにも、諸預金のなかで定期預金分析を優先させるわけである。

2. 柏原銀行の概要

1) 柏原銀行の設立

本論に入る前に分析対象とした柏原銀行の概要、滋賀県銀行業における位置などをみておこう。

柏原銀行は明治 34(1901)年 6 月に滋賀県坂田郡柏原村に設立された資本金 3 万円(払込 7,500 円)の小銀行である。

立地した柏原村は江戸時代以降中仙道の大きな宿場町＝柏原宿を擁して栄えていたが、明治以降柏原宿の存在意義が薄れ、衰退せざるを得なかった。明治 22 年新橋神戸間の鉄道が開通するが、柏原村はその路線から外れ、近隣の長岡に駅が開設された(近江長岡駅)。33 年に路線が柏原を通るように変更されると、柏原にも駅が設置され(柏原駅)、柏原村の経済的条件が好転することになった。柏原宿の商人である山根佐太郎⁽¹⁾は、この機会をとらえ地元の有効商人仲間に働きかけ、共同で銀行設立に踏み切ったといわれる。

同行の設立主体は山根佐太郎はじめ柏原の商人たちで、牧野久治郎(蚊帳商)、宮川房治郎(呉服商)、松浦千代松、加藤松次郎(旅籠屋)、松浦新太郎などであり、それに山根佐太郎と縁故関係を持つ岡崎安、三輪熊太郎が協力者として加わっている⁽²⁾。いずれも大株主であり、創立時に役員となっているが、多くが農地を持ち、農商兼営である⁽³⁾。

柏原銀行の本店は、柏原宿の街道に面した山根佐太郎宅におかれ、山根頭取自らが銀行経営にあたり、牧野、宮川がそれを支える体制であったと思われる。

- (1) 山根佐太郎は山根為蔵家の第 4 代当主であるが、銀行計画時では薬屋であった。初代為蔵は柏原宿で 3 大もぐさ屋の一つとして繁盛したといわれるが、明治以降、3 代目は菓子屋と薬屋を営み、4 代目佐太郎は家業の薬屋を継いだわけである。おそらく佐太郎は繁栄したもぐさ屋の流れを汲む者として著名な存在であったろう。
- (2) 岡崎安は山根佐太郎の妻基の実家で、姻戚関係から銀行設立に協力したのであろう。大株主となり、役員にもなっている。ちなみに、岡崎家は岐阜県不破郡荒崎村で、歴代庄屋を務め、十六輪中を築いたことでも著名、地元では名士・資産家である。また、三輪熊太郎は柏原村の隣村＝今須村の資産家(地主)であるが、山根佐太郎の父政次郎(山根為蔵家の第 3 代当主)と親交があり、その縁から佐太郎に銀行設立への協力を頼まれたのであろう。
- (3) 当初の出資者は 18 人と少なく、三輪熊太郎 83 株を筆頭に、牧野久治郎 72 株、山根佐太郎、宮川房治郎各 70 株と大株主が並ぶが、山根佐太郎は妻基 30 株を合わせると実質 100 株であり、岡崎安は妻サダ 50 株を合わせると実質 100 株であり、山根、岡崎が最多の筆頭株主ということになる。岡崎は山根の協力者であるから、山根の動員できる株式は山根・岡崎合計 200 株(全株の 1/3)とみられ、山根が強い発言力を持っていたと想像される。

なお、創立時の役員は次の8人である。

頭 取	山根佐太郎	坂田郡柏原村大字柏原第 321 番屋敷	70 株
取締役	牧野久治郎	坂田郡柏原村大字柏原第 201 番屋敷	72
〃	宮川房治郎	坂田郡柏原村大字柏原第 347 番屋敷	70
〃	松浦千代松	坂田郡柏原村大字柏原第 244 番屋敷	30
〃	岡崎 安	岐阜県不破郡荒崎村大字十六 69 番戸	50
〃	三輪熊太郎	岐阜県不破郡今須村 384 番戸	83
〃	加藤松次郎	坂田郡柏原村大字柏原第 381 番屋敷	30
監査役	松浦新太郎	坂田郡柏原村大字柏原第 246 番屋敷	30

2) 滋賀県銀行業における位置

柏原銀行が設立される以前、滋賀県での銀行業はどのように発生していたか。滋賀県には明治初期に国立銀行が長浜第二十一(明治 10 年 11 月設立)、小浜第二十五(同年 12 月)、大津第六十四(11 年 6 月)、彦根第百三十三(12 年 1 月)と相次いで設立され、第二十五は 14 年に行政区画変更で福井県所属となり、第百十五(11 年 12 月)が 19 年に三重県から転入した。それら国立銀行は明治 30 年前後に営業満期を迎え普通銀行に転換するが、第二十一は二十一、第百三十三は百三十三へ、第六十四は大津銀行、第百十五は湖南銀行へ改称した。

他方、明治 14(1881)年の八幡銀行設立以後、私立銀行の設立が明治 20 年代、30 年代に相次ぎ、柏原銀行設立時点で県内には普通銀行 20 行があり、滋賀県農工銀行、貯蓄銀行 3 行を含め、すでに合計 24 行が存在した。

第 1 表は明治 34(1901)年 12 月時点の滋賀県における諸銀行であるが、その立地は県内諸地域に分布しているものの、経済的発展の進んだ琵琶湖周辺の諸町村が多く、山間部は少ない。県北の坂田郡でも湖岸の長浜町には、二十一、長浜、長浜貯金の 3 行があるが、山間部には銀行は生まれなかった。柏原銀行は県北の山間部に県内最後に設立された、いわば珍しい銀行であった。その資本金 3 万円(払込 7.500 円)は、県内中小銀行の寺庄 5 万円(払込済)、信楽 5 万円(3.15 万円)、蒲生倉庫銀行部 3 万円(払込済)よりさらに少額であって、県内最小銀行の地位にあった(ちなみに湖南銀行は 1 万 7500 円で最小であるが、営業不振のため 7 万円を減資した経緯を持つ)。

払込資本額では二十一、百三十三の各 30 万円を筆頭に長浜 25 万円、八幡 20 万円と続くが、預金、貸出では八幡がずば抜けて大きく(預金 171 万円、貸出 76 万円)、百三十三、近江商業が続く、それ以下の中小銀行との格差は大きい。開業したばかりの柏原は、預金・貸出の規模でも営業不振の湖南、第四、信楽と共に末席にあった。

第 1 表 滋賀県所在銀行の概要 (明治 34 年 12 月現在)

銀行名	設立年月	所在地	明治34/12			積 金			貸 出		備 考		
			資本金	払込	積立金	定期	当座他	預公金	計	貸付金		当座預金	計
二十一銀行	明10.11	坂田郡長浜町	500	300	16	83	330	9	422	176	98	274	長浜第二十一国立銀行が明30/9私立銀行へ転換、二十一銀行と改称 大津第六十四国立銀行が明31/6私立銀行へ転換、大津銀行と改称、明41/1近江銀行に買収 丸山第百十五国立銀行が明31私立銀行へ転換、湖南銀行と改称、明41/3兵庫県に転出 彦根第百三十三国立銀行が明31/9私立銀行へ転換、百三十三銀行と改称
大津銀行	11. 6	大津市	150	150	5	11	187	0	198	69	108	176	
湖南銀行	11. 12	大津市	18	18	-	0	0	0	0	0	0	0	
百三十三銀行	12. 2	水上郡彦根町	300	300	33	217	667	10	894	122	277	399	
八幡銀行	14. 12	蒲生郡八幡町	200	200	138	493	1,218	0	1,711	516	244	760	
江頭農産銀行	16. 9	野洲郡北里村	100	100	30	240	248	16	504	153	292	445	
江北銀行	21. 11	伊香郡木之本村	140	88	25	17	106	131	131	99	126	225	
湖東銀行	28. 11	坂田郡長浜町	250	250	21	69	74	143	143	120	133	253	
近江商業銀行	29. 2	水上郡高宮村	200	100	-	78	326	403	403	20	61	80	
彦根商業銀行	29. 6	水上郡彦根町	250	125	40	162	488	650	650	129	205	333	
日野銀行	29. 7	大上郡彦根町	200	50	6	26	82	109	109	10	87	97	
第四銀行	29. 12	大津市	200	160	15	109	171	281	281	173	58	231	
高島銀行	30. 1	高島郡安曇村	95	48	9	81	168	249	249	73	138	180	
淡海下田銀行	32. 2	甲賀郡下田村	80	40	7	33	41	74	74	80	19	99	
寺任銀行	30. 5	甲賀郡寺任村	50	50	4	5	41	46	46	45	26	71	
栗太銀行	30. 8	栗太郡草津町	100	70	9	45	171	1	216	59	93	152	
伊香銀行	30. 12	甲賀郡水口町	80	64	8	26	120	5	151	129	60	188	
蒲生倉庫	32. 6	伊香郡木之本村	100	75	3	14	40	40	54	113	62	174	
信業銀行	32. 4	蒲生郡金田村	30	30	0	14	38	52	52	20	36	56	
相原銀行	32. 5	甲賀郡長野村	50	32	1	10	13	24	24	15	10	25	
滋賀農工銀行	34. 6	坂田郡相原村	30	8	0	3	17	20	20	5	8	13	
滋賀貯金銀行	明31. 1	大津市	500	500	43	105	-	9	105	249	249	249	明39/12近江銀行へ営業譲渡 大阪四ツ橋銀行が明34/7大津市に転入、35/6東京へ転出 明33/11銀行預託置、39/7蒲生銀行と改称 明39/2任意解散
長浜貯金銀行	28. 4	坂田郡長浜町	50	25	7	48	76	9	133	69	69	69	
近江貯金銀行	28. 6	大上郡彦根町	100	20	4	14	11	25	25	14	14	14	
近江貯金銀行	28. 6	大津市	100	25	10	48	76	9	133	117	31	148	
計			3,913	2,923	461	1,910	4,640	50	6,600	2,559	2,170	4,729	

【備考】「滋賀県統計書」(明治34年)より計算のうえ作成。

柏原銀行設立後、明治 39～41 年に長浜、湖東、日野、大津の 4 行が相次いで近江銀行に吸収合併され、信楽銀行が解散し、明治 44 年末には普通銀行は 14 行、滋賀県農工銀行、貯蓄銀行 3 行となった。

第 2 表は柏原銀行開業後約 10 年たった明治 44 年末の県内銀行 18 行の概要であるが、存続した各行は営業規模を拡大し、柏原も小規模ながらも成長している。払込資本金では百三十三 40 万円を筆頭に、八幡 35 万円、近江商業 31 万円と続くが、ほとんどの銀行で増加しているのに、柏原と江北だけが少額のまま不変であった。積立金では、八幡が払込資本金をはるかに上回る 50 万円を擁し抜群の多額で内容充実を物語っている。柏原はわずか 3 千円で、抜群に少額である。預金額でも八幡は抜群に大きく(291 万円)、百三十三の 181 万円、近江商業の 150 万円を大きく引き離している。柏原は伊香と共に 10 万円に満たず、最下位にある。貸出規模でも同様な傾向にある。要するに、営業規模でみる限り、八幡、百三十三、近江商業の 3 行が上位を占め、多数の中位行が続き、柏原は依然として末席に連なる小銀行であった。

ただ、柏原は規模こそ小さいものの、経営は健全であったとみられる(第 4 表右欄を参照)。すなわち、創業以来每期利益をあげ、配当を続けている。払込資本純益率は前半 5 年で 5.3 →15%に達し、後半 5 年で 27%にのぼり、株主配当を最大 5%に抑えていたから(役員賞

第 2 表 滋賀県所在銀行の概要 (明治 44 年 12 月現在)

(単位:千円)

銀行名	設立年月	所在地	資本金	払込	積立金	預金			計
						貸付金	当座貸越		
二十一銀行	明11.11	坂田郡長浜町	500	240	89	687	289	133	422
百三十三銀行	12. 2	犬上郡彦根町	500	400	157	1,805	139	499	638
八幡銀行	14.12	蒲生郡八幡町	500	350	500	2,913	295	707	1,002
江頭農産銀行	16. 9	野洲郡北里村	200	125	68	888	265	293	558
江北銀行	21.11	伊香郡木之本村	140	88	58	345	184	184	368
近江商業銀行	29. 6	犬上郡彦根町	500	312.5	72	1,499	276	497	773
高島銀行	30. 1	高島郡安曇村	95	95	89	684	111	245	356
淡海下田銀行	32. 2	甲賀郡下田村	80	64	22	389	225	271	496
寺庄銀行	30. 5	甲賀郡寺庄村	100	60	26	298	217	95	312
栗太銀行	30. 8	栗太郡草津町	200	100	15	810	301	278	579
甲賀銀行	30.12	甲賀郡水口町	160	96	27	570	327	271	598
伊香銀行	32. 6	伊香郡木之本村	160	100	7	73	96	59	155
蒲生銀行	32. 4	蒲生郡金田村	75	60	7	256	68	105	173
柏原銀行	34. 6	坂田郡柏原村	30	7.5	3	94	47	18	65
滋賀県農工銀行	明31. 1	大津市	500	500	98	684	1,870		1,870
長浜貯金銀行	28. 4	坂田郡長浜町	50	50	64	526	218		218
近江貯蓄銀行	28. 6	犬上郡彦根町	40	40	11	382	14		14
近江貯金銀行	28. 6	大津市	100	50	17	680	183	151	334
計			3,930	2,418	1,330	13,583	5,125	3,806	8,931

(備考)『滋賀県統計全書』(明治44年)より計算のうえ作成。

第3表 坂田郡所在の銀行本支店

年末	柏原銀行	近江商業銀行	美濃商業銀行	共営銀行	長浜銀行	近江銀行	長浜貯金銀行	江北銀行
明34	本店	入江支店	長岡支店	春照出張所	春照出張所			
35	"	"	"	"	"			
36	"	米原支店	"	"	"			
37	"	"	"	春照支店	"			
38	"	"	"	"	"			
39	"	"	"	"	"			
40	"	"	"	"	"	米原支店		
41	"	"	"	"	"	"		
42	"	"	"	"	"	"	春照出張所	米原出張所
43	"	"	"	"	"	"	"	"
44	"	"	"	"	"	"	"	"
大元	"	"	"	"	"	"	"	支店(神照村)

[備考] 第9～20回『銀行総覧』より作成。各行の入江支店・米原支店・米原出張所はいずれも入江村所在。長岡支店は東黒田村、醒ヶ井支店は醒ヶ井村、春照出張所は春照村の所在。

行が長岡支店(東黒田村所在)と醒ヶ井支店(醒ヶ井村所在)を設置していた。柏原銀行の本拠地一柏原村には他行の支店はなく営業上の競合はないものの、周辺部にはすでに他行支店が先行していたわけである。36年に柏原銀行は米原支店を設けるが、岐阜大垣に本店を置く共栄銀行と長浜に本店を置く長浜銀行がともに春照出張所を出店している。柏原銀行の米原支店は経営に失敗し短期間で撤収するが、米原地区は近江商業銀行の米原支店ががちりと抑え、のち近江銀行が米原支店を、長浜貯金銀行が米原出張所を出店し、柏原銀行は同地区とは撤退後ほぼ無縁となったのである。長岡、醒ヶ井の2支店を設けていた美濃商業銀行は37年に長岡支店を撤収、38年には醒ヶ井支店も廃止、他方、伊吹山麓の春照村に根を下ろしていた共栄銀行春照支店に加えて、近江銀行が春照出張所を開設した。米原から撤退した柏原銀行は中山道の宿場町＝醒ヶ井宿、柏原宿、今須宿(岐阜県)の周辺と、北に広がる農業地域(長岡を中心とする東黒田村やその北の大原村)を競合のない独自の営業基盤としたのである。

3. 柏原銀行の預金構成とその内容

1) 預貸金の推移

それではまず、柏原銀行の預貸金の推移をみておこう(第4表参照)。同行の基本的な資金構造は、いうまでもなく預金と自己資本を主たる資金源泉とし、それを貸出・有価証券等に運用する形である。しかし払込資本金は不変、利益の蓄積が緩慢に進行するだけであるから自己資本の拡大は極めて緩慢、したがって預金の変動が資金運用に直接影響することになる。たしかに長期的には預金の集積が進み、つれて貸出も膨張したが、その途中では異常な対応をせざるを得なかったのである。結論を先に言えば、貸付不振のため預け金に運用したり、貸付が回収できず資金不足を借入金でカバーしたりした。もう少し具体的にみよう。

第1期(明34/12期)では、集まった預金を貸出しきれず、預け金とした(12,026円)。第2期もその傾向が続いたが、第3期には預金がさらに集まって、貸出しきれず、預け金は一層多くなったのである(13,354円)。第4～6期は開設した米原支店分が加わったため、預金・貸金とも膨張したが、第5期は運用困難のための預け金増加を招いている(19,487円)。第6期は預金減少にもかかわらず、貸出が急増し、珍しく借入金に依存した。その後も第11期では不況・金融緩慢の中、預金は増加したが、資金需要なく、預け金が多額になった

第4表 柏原銀行の資金源泉と運用

決算期	資金運用				計		資金源泉			貸付			自己資本	払込資本(積立金)(純利益)	払込資本(%)	配当金	役員賞与	
	貸出	有価証券	預け金	金銀勘定	その他	預金	借入金	預金	借入金	純利益	純利益	純利益						
第1期 明34.12	13,240		12,026	1,869	193	27,328	19,630	7,699	7,500	199	7,500	7,500	7,699	7,500	5.3	113.0	1.5	15
2	35.6	17,365	9,375	2,049	211	29,000	21,065	7,935	7,500	364	7,500	7,500	7,935	7,500	9.7	262.5	3.5	25
3	12	16,126	13,354	2,383	226	33,264	25,206	8,058	7,500	410	7,500	7,500	8,058	7,500	10.9	300.0	2.5	25
4	36.6	35,280	8,678	4,303	529	48,790	40,384	7,987	7,500	255	7,500	7,500	7,987	7,500	6.8	225.0	4.0	33
5	12	33,192	1,086	5,162	1,582	60,509	50,586	8,093	7,500	364	7,500	7,500	8,093	7,500	9.7	262.5	3.0	51
6	37.6	43,826	1,056	11,091	1,302	60,322	41,839	8,102	7,500	323	7,500	7,500	8,102	7,500	8.6	225.0	3.5	54
7	12	36,904	1,068	2,314	795	41,081	31,612	8,272	7,500	449	7,500	7,500	8,272	7,500	12.0	262.5	3.0	53
8	38.6	29,234	1,443	2,397	1,306	43,284	33,059	8,422	7,500	535	7,500	7,500	8,422	7,500	14.3	300.0	3.5	53
9	12	39,339	1,443	3,017	507	48,606	38,771	8,561	7,500	562	7,500	7,500	8,561	7,500	15.0	337.5	4.0	85
10	39.6	31,705	1,443	2,582	859	43,724	34,954	8,715	7,500	577	7,500	7,500	8,715	7,500	15.4	338.0	4.5	72
11	12	41,827	1,443	2,966	523	64,834	55,947	8,877	7,500	571	7,500	7,500	8,877	7,500	15.2	338.0	4.5	85
12	40.6	53,494	1,535	2,378	535	59,171	49,934	9,086	7,500	631	7,500	7,500	9,086	7,500	16.8	375.0	4.5	90
13	12	42,283	1,535	3,137	581	66,943	57,701	9,242	7,500	621	7,500	7,500	9,242	7,500	16.6	375.0	5.0	90
14	41.6	44,189	1,487	2,345	663	60,481	51,096	9,384	7,500	607	7,500	7,500	9,384	7,500	16.2	375.0	5.0	90
15	12	58,101	1,487	4,401	839	68,548	57,555	9,656	7,500	737	7,500	7,500	9,656	7,500	19.7	375.0	5.0	94
16	42.6	49,609	1,487	3,589	848	59,513	49,692	9,821	7,500	634	7,500	7,500	9,821	7,500	16.9	375.0	5.0	95
17	12	49,617	1,487	45,384	3,148	103,816	93,498	10,017	7,500	666	7,500	7,500	10,017	7,500	17.8	375.0	5.0	95
18	43.6	56,611	1,127	17,039	4,666	81,526	70,894	10,551	7,500	1,004	7,500	7,500	10,551	7,500	26.8	375.0	5.0	100
19	12	64,812	2,527	31,874	6,225	106,810	95,604	10,960	7,500	883	7,500	7,500	10,960	7,500	23.5	375.0	5.0	120
20	44.6	85,564	2,450	5,132	6,794	101,148	89,584	11,404	7,500	939	7,500	7,500	11,404	7,500	25.0	375.0	5.0	120
21	12	88,461	2,350	7,308	6,528	105,835	93,663	11,812	7,500	903	7,500	7,500	11,812	7,500	24.0	375.0	5.0	119
22	45.6	87,319	2,250	4,423	4,409	99,820	84,197	12,335	7,500	1,017	7,500	7,500	12,335	7,500	27.1	375.0	5.0	120

[備考] 柏原銀行の各期「営業報告書」より計算のうえ作成。

(18,075 円)。第 17 期は預金が急増したが資金需要不振により、預け金は過去最高に達した(45,384 円)。第 19 期も同様な事情で、預け金は多額であった(31,874 円)。有価証券は第 3 期に 1,000 円程度保有し、以後そのまま保有し続け、資金運用上は無関係であり、結局、預金の増加に貸出が応じきれないとやむを得ず預け金にまわすことが繰り返えされたのである。

営業報告書の「営業ノ景況」は預貸金の増減をもたらした状況をかかなり説明しているので、以下、列举しておこう。

第 2 期(明 35/6)「本期ハ商工業概シテ不況ヲ極メ金融緩慢トナリ利息モ漸次低落ノ一方ニ傾キ充分ノ成績ヲ得ル能ハザリシモ超ヘテ 4 月ニ至リ米価昂騰シ資金ノ需用来シタリ)」

第 3 期(明 35/12)「前期ヨリ引続キタル一般商業ノ沈静ハ本期ニ入り一層不振ヲ極メ金融又頗ル緩慢トナリタルヲ以テ 10 月ニ至リ預金利子ノ引下ケヲ為シ貸出シモ亦利率ノ引下ケヲ為シタリ)」

第 4 期(明 36/6)「本期ハ商工業一般前期ヨリ引続キタル沈静ハ一層不況ヲ極メ金融増々緩慢トナリタルヲ以テ 4 月ニ入り預金利子ノ引下ケヲ為シ貸出シモ亦利率ノ引下ケヲ為シタリ)」

第 5 期(明 36/12)「営業ノ景況ハ著シク記載スベキ事項ナシ……金融緩慢ニシテ不景気ノ声ハ世上一般ノ状況ナリ)」

第 6 期(明 37/6)「営業ノ景況ハ引続キタル世上ノ沈静……商工業者ハ休業同様ノ状態ニ陥リ亦近接二三銀行支払停止ヲナシタル為メ其余波ヲ受ケ預金ハ引出ノ一方ニ傾キ貸出ノ回収円滑ナラズ從テ金融逼迫ノ状ヲ呈セシヨリ貸出シ利率ノ引上ケヲ為シ警戒ヲ加ヘ慎重ノ態度ヲ以テ業務ヲ執(れり)」

第 7 期(明 37/12)「当期ハ米原支店ノ閉鎖ニヨリ預金ハ大ニ減額シ、……本店ニ於テモ預金ハ漸次減退ノ傾向トナリ、商工業者ハ引続キタル一般ノ沈静ニシテ資金ノ需用ハ乏シク貸出ノ回収ハ円満ナラズ為ニ甚タシク金融界ニ其影響ヲ蒙リツツ経過シタルモ幸ニ秋穫豊穰ト日露戦争ノ連勝トニヨリ 10 月初旬ヨリ預金ハ稍増加シ又資金ノ需用ハ徐ニ相起リ幾分ノ緩和ヲ呈セ(り)」

第 8 期(明 38/6)「本行営業之状況ハ前期ニ引続キ商工業振ハズ国庫債券応募等ニテ預金ハ幾分ノ減退ヲ来タシ貸出金ノ回収モ円滑ナラズ 4 月ニ至リテ資金之需用頻々相起リタルヲ以テ預金利子ノ引上ケヲ為シ貸出シモ亦利率ノ引上ケヲ為シタリ)」

第 9 期(明 38/12)「当行営業ノ景況ハ日露戦争ノ平和克復ト俱ニ国債ノ払込ハ終局ヲ遂ケ

一般ノ商況徐ニ挽回ヲ来シ為ニ商工業者ハ弥々活気ヲ帯ビ資金ノ需用頻々相起リ又農家ニ於テハ秋穫平年ヨリ劣リタルモ其当時米価ノ高騰ニヨリ預金ハ増加シ運転其宜シキヲ得タルニヨリ前期ニ比シ稍良好ナル成績ノ挙リタルハ幸ヒナリ」

第 10 期(明 39/6)「營業ノ景況ハ臨時国債ノ応募等ニテ一時金融逼迫ノ状態トナリタルモ第 45 回国債ノ償還ト農産物ノ昂騰トニ伴ヒ預金ハ漸次増加ニ傾キ資金ノ需用ハ終始不振ニシテ金融倍々緩慢トナリタルニヨリ 5 月ニ至リ預金及貸金利率ノ引下ヲ行ヒ運転其宜キヲ図リタ(り)」

第 11 期(明 39/12)「營業ノ景況ハ前期ヨリ引続キタル金融ノ緩和ニ一層預金ハ増加シ資金ノ需用モ起ラス不振ニシテ依然潤沢ヲ示シタリ然ルニ 10 月以後ヨリ漸次資金ノ活動ヲ来シタル為頗ル順調ニ当半期ヲ経過シ相当ノ利益ヲ得ルニ至レリ」

第 12 期(明 40/6)「金融ハ前期ニ引続キ緩和ノ状態ナリシモ春來天候適順ニシテ 5 月ニ至リ春作豊穰ナリシノミナラス米価昂騰セシトニ依リ稍活況ヲ呈シ多少資金ノ需要ヲ来セルモ平穩無事ノ裡に本期ヲ了レリ」

第 13 期(明 40/12)「營業ノ景況ハ本期ノ中前三ヶ月ニ於テハ養蚕ノ良結果ト生糸及穀物等ノ声価高騰ニヨリ金融潤沢ニシテ貸出シハ需用頻々相起リ愈好機ニ向ハント期待シタルニ後 3 ヶ月ニ至リ海外銀行ノ恐慌ハ其影響直ニ我国へ及ボシテ翻然糸価ハ大暴落ヲ告ケ次テ米穀等モ漸落ヲ来シ農家ハ生產品ノ売惜ミトナリ為メニ預金ハ引出シノ一方ニ傾キ貸出シハ日々回収金多クシテ至極閑散ノ中ニ本期ヲ終レリ」

第 14 期(明 41/6)「前期ヨリ引続キ商況不振ニシテ金融緩慢ナリシモ 4 月ニ入り蚕業資金ノ需用ヲ来タシ稍繁忙ノ状態トナリ期末ニ至リ米価昂騰セシニ抱^{ママ}ハラス売惜ミノ結果金融益々緊縮ヲ持續シ随テ預金ノ減少セシ等為メニ敏活ナル能ハザリシ」

第 15 期(明 41/12)「營業ノ景況ハ引続キタル諸物価ノ下落ニヨリ商工業者ノ不振トナリ農家ハ生產品ノ売惜ミヨリ延テ預金ハ減退ニ傾キ又貸出シノ回収ハ兎角遅緩ニシテ金融倍々緊縮ヲ来セシモ 10 月以後ニ至リ預金ハ漸ク増加シ貸出金ノ回収モ円満トナリ資金ノ需用ハ頻々相起リ稍回復ヲ来シタリ」

第 16 期(明 42/6)「商工業ノ沈睡ハ本期ニ入り益々其ノ度ヲ高メ随テ金額(金融?)^{ママ}緩慢ナリシガ 2 月旧節季ニ至リ稍繁忙ヲ来セシモ之レ唯一時ノ現象ニシテ旧ニ復セリ米価ハ前年来引続キ下落ノ一方ニシテ更ニ資金ノ需用ナク頗ル閑散ノ内ニ本期ヲ経過セリ」

第 17 期(明 42/12)「当期間ノ金融ハ前期ノ余勢ヲ受ケ益々低落スルノ一方アルノミ是レ蓋シ商況ノ不振ナル殊ニ主要商品タル米ハ価格ノ低廉ナル農家ハ概ネ貯蔵ニ傾キ随テ購買

力ヲ減殺セラレ市場ノ寂寥トナリ経済界ノ沈静ナル……」

第 18 期(明 43/6)「例年前半期ハ商況平穩ニシテ金融閑和ノ節ナルニ特ニ一般ノ商工業前期ヨリ引続キ依然不振ノ儘ニテ未ダ恢復ノ機ニ向ハザリシヨリ資金ノ需用小ナク且ツ諸預リ金ハ近来増加セシヲ以テ一層緩慢ヲ来タシ庫中遊金ヲ擁シタリシガ只期末ニ至ッテ製糸業者原料購入ノ時ニ際セシヲ以テ稍々繁忙ノ状アリシモ是レトテ一時ノ現象ニ止マリ大勢ハ依然緩慢ノ間ニ当期ヲ終レリ」

第 19 期(明 43/12)「前期ヨリ引続キタル金融ノ緩慢ハ当期ニ入り一層其極ニ達シ貸出金ハ回収セラレ預金ハ益々増加シ資金ノ運用ノ苦ミタリシモ期末ニ至リ新穀ノ出廻リアリシタメ稍繁忙ノ感アリ」

第 20 期(明 44/6)「当半期間ノ營業ノ概況ハ一般ノ商工業前期ヨリ引続キ依然トシテ不振ノ域ヲ脱セズ金融モ亦緩慢ノ大勢ヲ持続シ資金ノ需用起ラザリシモ 4 月ニ入り蚕業資金ノ需用ヲ来タシ稍繁忙ノ状アリシモ是レ唯一時ノ現象ニ過ギスシテ静穩閑散ニ当期ヲ終レリ」

第 21 期(明 44/12)「当期ニ入ルモ経済界ハ依然トシテ振ハズ金融モ亦緩慢ノ状態ナリシカ八九月ニ入り農家ハ稀有之增收見込ミニテ俄然人気ヲ挽回シ来リ愈繁忙ヲ告ゲ為ニ年末ニ際シ金利引上ケノ止ムヲ得サルニ至レリ」

第 22 期(明 45/6)「營業ノ景況ハ前期末ノ緩慢ヲ継承シ本期ニ入りテモ変化ナク一般農業ヲ專ラトスル土地柄ニ付商工業ヲ営ムモノ割合小数ニシテ漸次発展シツツアリシモ資金ノ需用起ル?合ニ至ラズ米価騰貴ノ為メ預金増加ノ気味アリシモ又引出シモ從テ多ク只一時ノ現象ニシテ活気乏シク閑散ノ内ニ経過セリ」

これらの説明から判明するのは、農業依存の土地柄なので、収穫期を含む 12 月期に預金が増え、端境期を含む 6 月期に預金が減るといった季節性があること、とくに農作物の増産、米価の高騰など農業収入の拡大が預金増加につながっていること、商工業者は少数で、資金需要自体が多額ではないこと、むしろ農業資金の需用が想像されることなどである。

2) 預金構成とその内容

次に資金源泉の中心をなす預金についてその内容を検討しよう。

まず、柏原銀行の預金残高の推移であるが(第 5 表を参照)、創業期の 2 万円から約 10 年後には 9 万円にまで増加したが、必ずしも毎期一本調子で増加したわけでもない。第 4 期に米原支店が開設され、第 7 期に廃止されるまで、同店の預金が増えたため、4、5 万円の残高に膨張した。同店廃止後は再び本店のみとなり、第 7 期の残高は 3 万円に縮小、以

第5表 柏原銀行の預金構成・増減推移

(金額単位:円、構成比:%)

種目	第11期	第2期	第3期	第4期	第5期	第6期	第7期	第8期	第9期	第10期	第11期
	明34/12/31	明35/6/30	明35/12/31	明36/6/30	明36/12/31	明37/6/30	明37/12/31	明38/6/30	明38/12/31	明39/6/30	明39/12/31
定期預金	2,516	3,507	4,337	3,838	4,490	4,571	6,703	7,020	7,777	6,505	10,114
当座預金	24	5	16,271	18,934	19,055	16,100	124	17,851	28,221	2	20
小口当座預金	14,090	11,740	4,598	539	4,166	3,310	3,310	8,187	2,770	25,882	40,239
別段預金	3,000	5,812	25,206	23,311	27,711	20,671	29,352	33,059	38,771	2,547	5,595
公金預金	19,630	21,065	830	-500	652	81	2,133	598	1,074	34,954	55,947
計		991	-5	0	1	-1	124	-111	-122	-1,272	3,608
定期預金		-18	4,531	2,663	120	-2,955	3,115	-1,183	9,005	18	-20
当座預金		2,812	-1,215	-4,059	3,627	-4,166	3,310	3,141	-539	-2,339	14,357
小口当座預金		1,435	4,141	-1,895	4,400	-7,040	8,681	1,446	9,418	-224	3,048
別段預金		16.6	17.2	16.5	16.2	22.1	22.8	21.2	20.1	18.6	18.1
公金預金		0.1	64.6	81.2	68.8	77.9	65.5	54.0	72.8	0.1	71.9
計		71.8	27.6	18.2	15.0	0.0	11.3	24.8	7.1	7.3	10.0
構成		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
比											

種目	第12期	第13期	第14期	第15期	第16期	第17期	第18期	第19期	第20期	第21期	第22期
	明40/6/29	明40/12/31	明41/6/30	明41/12/31	明42/6/30	明42/12/31	明43/6/30	明43/12/31	明44/6/30	明44/12/31	明45/6/29
定期預金	9,533	10,503	10,562	11,172	10,154	37,850	22,472	25,759	27,697	29,480	24,280
当座預金	45	4	4	23	23	44,300	39,299	58,658	47,441	8	3
小口当座預金	31,006	42,233	35,087	40,170	34,567	10,399	8,276	7,590	12,819	54,753	53,536
別段預金	9,350	4,965	5,443	5,195	4,114	949	847	3,587	1,619	6,354	4,357
公金預金	49,934	57,701	51,096	57,555	49,692	93,498	70,894	95,694	89,584	3,074	1,860
計		970	59	610	-1,018	27,696	-15,379	3,288	1,937	1,784	84,197
定期預金		-45	4	19	-23	0	0	0	8	-5	-5,200
当座預金		11,228	-7,146	5,083	-5,603	9,733	-5,001	19,359	-11,217	7,312	161
小口当座預金		3,756	-4,385	478	-248	6,285	-2,123	-686	5,229	-6,465	-1,997
別段預金		-6,013	7,767	6,459	-7,863	43,806	-22,604	24,700	-6,010	1,454	-1,214
公金預金		19.1	20.7	19.4	20.4	40.5	31.7	26.9	30.9	31.5	-9,467
計		18.2	68.7	69.8	69.6	47.4	55.4	61.4	53.0	58.5	28.8
定期預金		62.1	73.2	73.2	73.2	11.1	11.7	7.9	14.3	6.8	0.2
当座預金		18.7	8.6	9.0	8.3	1.0	1.2	3.8	1.8	3.3	63.6
小口当座預金		100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	5.2
別段預金											2.2
公金預金											100.0
計											

[備考] 柏原銀行「営業報告書」より計算のうえ作成。

後、第 10 期までは 3 万円台の残高が続き、第 11 期から 16 期までは 5 万円前後が続き、第 17 期に一举に 9 万円を超えたものの、第 22 期まで横ばいとなっている。全期間を通じてみれば、下期の残高が増加し、上期に縮小する、いわば季節変動をはらみながら預金規模が段階的に増加したといえよう。

それでは柏原銀行全体の預金構成を見よう。第 5 表にみるとおり、創業以降預金の大部分は小口当座預金であって、定期預金がそれに次ぎ、別段預金が若干あるものの、当座預金は終始無きに等しい。明治期を通じて基本的にはこの構成は不変である。以下、各種預金の内容をそれぞれの預金元帳によって考察しよう。

(1) 当座預金

当座預金は残高としては無きに等しく、預金構成上問題とならない。それには同行の当座預金の独特なありかたがかかわっている。すなわち、当座預金開設と同時に当座貸越を起し、その後随時入金して貸越を解消ないし減額したり、さらに必要に応じて追加の貸越もする。開設時に当座貸越極度が設定され、極度内で日常的に当座貸越が利用されているわけである⁽¹⁾。

通常、当座預金は営業性資金の出入りの場であり、臨時的な資金不足に際し、当座貸越が用いられる。いわば当座貸越は一時的、臨時的な資金調達手段として機能する。ところが同行では開設時以降、当座貸越が恒常的な貸出手段となっていたのである。

第 6 表によってそのことを検証してみよう。同行開業以来、明治期に 77 人が当座預金を開設しているが(明治 34 年 6 人、35 年 11 人、36 年 11 人、37 年 13 人、38 年 2 人、39 年 5 人、40 年 1 人、41 年 3 人、42 年 6 人、43 年 9 人、44 年 6 人、45 年 4 人)、開設時に当座貸越が起きているのが 70 人を占め、開設後最初の決算期末までそのほとんどが当座貸越を続けている。各人別に開設後最初の決算期末までの積数を計算してみると、ほとんどが借方、すなわち当座貸越であり、多額の積数となっている者が少なくない。貸方、つまり貸越が起らず当座預金だけの場合は皆無に近い。もちろん最初の決算期以降、当座貸越が解消されることがないわけではないが、ほとんどで当座貸越状態が持続されている。すなわち、5 年後の 39/6 期、39/12 月期、10 年後の 44/6 月期、44/12 期の当座預金残高を各人別に調べてみると、ほぼすべてが当座貸越となっているので、事態は変わっていないことがうかがえる。

当座預金開設者はほとんどが個人であるが、身元がわかるのは柏原銀行の役員・株主(岡崎安、宮川房治郎、松浦新太郎、松浦千代松、三輪熊太郎、古池文太)、後掲の資産家名簿

第6表 当座預金の内容

(金額単位:円)

当座開設日	預金者	開設時 預け高	直後の 期末残高	貸 越		期末までの積数		39/6	39/12	44/6	44/12	貸付
				極度	利率	借方	貸方	借方	借方	借方	借方	
34 7 6	柏原村役場	350	30				23,500					
34 8 29	岡田孫治郎	△ 20	8	100		7,050						
34 9 11	山本亀三郎	△ 500	△ 600	600	28	58,400		?	?	3	3	
34 12 18	岡崎 安	△ 4,000	0	6,000	26	166,000						
34 12 24	谷口桑治郎	△ 800	△ 700	800	27	78,300		?	?	278	221	貸付
34 12 26	三輪卯三郎	△ 250	305	400	31	224,755			399	399	305	1 貸付
35 1 17	西川瀬太郎	△ 400	△ 400	500	32	16,260			544	367	648	579 貸付
35 9 1	西郷秋雄	△ 36	△ 112	300	29	2,331			920	1		
35 9 8	宮川房治郎	300	50	500	28		6,100		716	0		貸付
35 7 21	高井六之助	△ 90	△ 110	200	32	7,165			61	90	7	0
35 12 2	山根文三郎	△ 225	△ 225	250	29	19,125			66	84	210	338
35 11 12	大原信用組合	△ 100	△ 200	240	28	6,300			513	0		
35 10 14	堀井熊治郎	△ 1,370	△ 1,575	1,600	25	11,095		1,659	1,313			貸付
35 11 29	西村芳雄	△ 600	△ 542	600	28	15,308			320	178		貸付
35 12 8	堀井政五郎	△ 50	△ 100	170	30	1,250						
35 12 12	谷田与三郎	△ 200	△ 200	300	28	2,800						貸付
35 12 25	松浦新太郎	△ 150	△ 125	150	28	1,150		130	725	947	937	貸付
36 1 31	竹腰秀悠	△ 1,000	△ 930	1,400	27	53,910		1,440	1,438			
36 4 12	大久保常五郎	△ 81	△ 81	200	28	6,065			182	103	190	191
36 6 25	吉田文助	△ 110	△ 495	500	28	39,415			393	167		貸付
36 8 1	宮川六蔵	△ 120	△ 220	450	28	15,370			317	406		
36 8 15	村瀬惣三郎	△ 80	△ 130	130	28	3,410			136	134	貸 133	119
36 9 25	川口とも	△ 35	△ 35	100	28	3,220						
36 9 30	西沢初蔵	△ 50	△ 100	100	32	5,450			50	53	24	0
36 11 2	西郷よ弥	△ 105	△ 248	300	23	8,400			227			
36 11 21	栗田津寿彖	350	0				500					
36 12 7	馬淵外吉	△ 1,500	△ 1,500	2,000	24	28,500		1,960	2,107			
36 12 27	竹腰八三郎	△ 150	△ 265	300	26	18,770			0			貸付
37 3 10	村瀬清松	△ 70	△ 70	250	30	1,120			169	181		
37 4 2	堀井定助	△ 75	△ 300	400	28	11,340			253	238		
37 5 10	松浦千代松	△ 180	△ 280	700	24	13,160						貸付
37 5 23	大垣共立銀行	1,401	0									
37 6 26	小管? 三	△ 1,700	△ 1,700	1,700	24	95,200						
37 6 26	北川友次郎	△ 817	△ 817	800	23	45,696			426	450	1,820	0 貸付
37 6 26	田村金七	△ 484	△ 54	500	23	16,245			302			
37 6 26	北川常太郎	△ 2,995	△ 2,395	3,100	23	156,320					2,342	
37 6 26	樋口彦平	△ 1,376	△ 1,176	1,500	22	73,255			677	130		
37 6 26	大橋信太郎	△ 1,018	△ 900	1,000	22	54,100						
37 6 26	久米久右衛門	△ 402	△ 402	800	22	37,492			227	134		
37 6 26	磯崎外吉	△ 892	△ 892	900	23	32,076						
37 6 26	磯崎末吉	55	0		10							
38 2 25	江龍 潜	△ 100	△ 100	500	30	2,900			115	0	242	118
38 2 19	堀井政八	△ 150	0			650			20	1	81	137 貸付
39 4 23	三輪熊太郎	△ 3,200	△ 3,650	3,900	23	217,270			3,736	3,804	4,172	1,126 貸付
39 6 27	中原大定	△ 58	△ 138	150	30	8,113			58	76	379	400 貸付
39 7 19	松浦左京	315	△ 192	1,300	28	1,910	3,106			358	570	46 貸付
39 12 1	松下栄治郎	△ 125	△ 199	200	30	12,275				154		貸付
39 12 22	松井惣六	△ 300	△ 300	600	25	1,200				180	608	貸付
40 5 8	山東生産販売購買組合大久保常五郎	△ 1,000	△ 1,000	1,000	23	53,000						
41 4 16	多賀永太郎	△ 488	△ 568	700	30	39,297						
41 6 19	藤田 清	△ 400	△ 400	1,000	30	2,800					1,049	1,000 貸付
41 6 24	山口半六	220	△ 220	500	30						548	75 貸付
42 1 19	堀常三郎	△ 50	0	700	28	200						貸付
42 4 19	木村節吉	△ 360	△ 400	500	30	31,100					500	252 貸付
42 5 4	塚口捨松	△ 950	△ 640	1,000	29	48,870						貸付
42 5 8	箕浦相教	△ 200	△ 200	2,000	28	9,800					739	499
42 10 2	西村五郎作	△ 30	△ 538	1,200	29	21,771					457	178
42 12 12	柴山得造	△ 100	△ 200	800	26	2,200					697	731
43 2 10	吉永房治郎	△ 200	△ 200	400	28	8,800						
43 2 10	松井茂一郎	△ 300	△ 355	500	28	13,825						
43 4 5	山岸憲雄	△ 50	△ 243	500	26	17,099					417	
43 6 22	川部弥治郎	△ 100	△ 180	1,200	24	4,200					0	
43 8 22	武立喜一郎	△ 300	△ 1,200	1,200	25	34,800					1,608	貸付
43 8 30	八代松次郎	△ 45	△ 714	1,000	25	16,230					840	1,235 貸付
43 11 13	松田捨次郎	△ 690	△ 280	500	25	10,580					487	501
43 12 14	川崎由次郎	△ 100	△ 350	500	255	2,765					611	533
43 12 31	和田市三郎	△ 200	△ 520	600	25	35,780						
44 2 9	滝方伊三郎	△ 300	△ 730	1,500	25	27,400					93	22
44 2 20	古野伝治郎	△ 250	△ 250	500	26	500					70	237
44 5 31	山本市松	△ 600	△ 1,200	1,600	27	27,800					1,208	1,376
44 5 29	川村広三郎	△ 225	△ 168	1,500	20	5,018					186	728 貸付
44 8 25	吉村仁市	△ 200	△ 200	600	28	6,600						150
44 11 29	山岸吉次郎	△ 190	△ 210	500	20	5,480						211
45 3 23	辻村喜三郎	△ 600	△ 2,270	1,500	22	141,204						
45 3 25	古池文太	△ 150	0	700	22	0						
45 4 9	乙 松浦新之助	△ 2,400	△ 2,080	2,350	22	166,230						貸付
45 4 15	江龍宗一	△ 43	△ 458	500	22	18,671						
計								16,016	13,271	22,336	11,944	

[備考] 柏原銀行「当座預金元帳」より作成。貸付欄は筆者が補充。

に登場する者(山本亀三郎、三輪卯太郎、西邨秋槎、樋口彦平、江龍潜、松浦左京、山口半六、山部弥治郎)、醒ヶ井の石灰業者=川崎由次郎、大原信用組合長=大久保常五郎、柏原村長ないし収入役=西川瀬太郎、川村広三郎ぐらいで、ほとんどがいかなる事業者なのか明らかでない。地場独自の商工業がない土地柄なので、おそらく地主・農業者であって、農業資金需要を当座借越で調達しているのではあるまいか。そして多くの者が借入を併用していることが不可解である。

(2) 別段預金

別段預金は臨時的な資金の模様で、残高が大きく変動し、全預金での比重は低い時は5%台、高い時は20%台になっている。

第7表は別段預金の預金者を開設順に列挙し、各人の期末残高を示したものである。預金者は36人、団体名義が7(うち別口が1あるので、実数は6)、複数名義が2、個人名義が26(うち個人で別口が3あるので、実数は23人)となっている。

当初の預金額が1,000円を超えるものが7人を数え、その滞留状況は以下のようである。

牧野久治郎は同行の役員・大株主であり、大口預金者の一人であるが、具体的に預金の動きを追ってみると、当初(明 34.7.17)3,000円を預金し、11回にわたる出金で一旦ゼロとなるが、その後たびたび1,000円ないし4,000円の多額の預金をし、逐次出金するものの、長期間滞留することもあり、明治期を通じ、終始別段預金利用者であった。牧野は同行開業時から小口当座預金口座を開いているが、多額資金を頻繁に出し入れしているわけではなく、むしろ別段預金が多用されていたごとくである。

岡崎サダは同行の重役・大株主岡崎安の妻であるが、当初(明 34.12.17)6,000円の多額預金はわずか14日で全額出金され(小口当座へ振り替え)、35.6.4に5,800円が預けられ、32日後に全額が引き出され、取引は終了した。

大字柏原学資金管理者山根佐太郎の場合では、当初(明 35.12.30)の1,207円の預金は108日後に全額出金され、取引は終了した。

牧野久治郎外4人の場合は、当初(明 37.7.25)4,500円の預金は、98日後全額出金され、取引は終了した。

岡崎安の場合では、当初(明 37.6.6)500円の預金に小口当座から1,000円が振り替えられ、残高は1,500円となるが、逐次出金されて一旦ゼロとなるが、38.3.27に2,000円が預けられ、5.9に出金されて再びゼロとなる。明 44.5.27に5,500円の多額の預金をしたものの、わずか5日で出金して、取引は終了した。

第7表 別段預金の預金者と残高推移

預金設定日	預金者	当初残高	34/12	35/6	12/36/6	12/36/6	12/37/6	12/38/6	12/39/6	12/40/6	12/41/6	12/42/6	12/43/6	12/44/6	12/45/6	12/45/6	(金額単位:円)						
34/12	17 松野久治郎	3,000	3,000	0	3,317	399	4,019	3,214	2,222	380	1,238/6	1,242/6	1,243/6	1,244/6	1,245/6	572	小口						
34/12	18 西阿ツタ	6,000	2,000	12	73	100	112										小口						
35/3	22 日医薬総代三浦真三郎	1,207	1,207	41	35	51	97	5	59	62	114	116	154	202	218	30	26						
37/4	6 京都府立第一高等学校	50	50	41	35	51	97	5	59	62	114	116	154	202	218	30	26						
37/4	6 京都府立第七高等学校	50	50	41	35	51	97	5	59	62	114	116	154	202	218	30	26						
37/1	6 成瀬謙隆	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228	228					
37/3	7 若川五祐	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60	60					
37/3	30 岩佐定治郎	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50					
37/6	6 岡崎 安	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500					
37/7	9 山根澄治—山根もよ	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55					
38/3	10 吉原口 山根澄治	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500					
37/7	25 牧野久治郎外4人	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500					
37/8	9 入江吉	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13	13					
37/12	21 堀井龍太郎	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950	2,950					
38/1	31 山根敏三	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350	2,350					
38/2	16 山根ちえ	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34	34					
38/5	9 安藤佳一	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000					
38/5	17 吉村まづの	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900					
38/6	9 小舘政太郎	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82	82					
38/7	5 中川康三	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6					
38/10	7 山本常吉	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205	205					
39/6	1 岩佐五郎外4人	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714	714					
39/7	2 共盟社管理人小舘政太郎	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53	53					
41/3	12 行政業胡念兼理人江藤清城	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70	70					
41/11	4 吉村底治	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200					
42/10	6 上野秋孝知	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55	55					
43/4	13 方藤吉	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200					
43/6	7 高畑友吉	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100					
43/6	29 川部弥太郎	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115	115					
43/9	9 加茂神社寺庫講幹江藤清城	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435	435					
43/10	22 石坂神社倉庫管理人第2号江藤清城	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750	750					
44/1	23 江藤清城	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50					
44/6	20 田口江藤清城	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416	416					
44/9	2 田口江藤清城	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500	500					
44/12	27 高木七次	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314	314					
	計	3,000	5,812	4,997	540	4,166	4,604	5,055	8,195	2,068	2,528	5,598	9,400	4,964	5,445	5,172	4,114	10,398	8,277	7,859	12,997	5,674	4,321

【備考】抽戻銀行別段預金元帳より計算の作成。金融取引欄は筆者が補充。

堀井熊次郎(同行の株主・検査役)の場合は、当初(明 37.12.2)2,200 円の預金は、2 回の出金で 182 日後にいったんゼロとなるが、明 42.12.11 に 2,287 円の預金があり、36 日後に全額出金、以後利息分のみが残り続けた。

山根敏三(山根頭取の子)の場合では、当初(明 38.1.31)2,350 円の預金は、120 日後に全額出金されて、いったんゼロとなり、明 40.5.29 に 2,500 円を預金し、利息を加え期末には 2,502 円となったが、89 日後に 2,500 円を、さらに利息分を出金して、40.12.1 で取引は終了した。

安藤佳一の場合は、当初(明 38.5.9)7,000 円の預金は、多少の入出金を経て、52 日後 6,438 円になったが、さらに 115 日後に全額出金され、取引は終了した。

そのほかに別段預金開設後、途中で 1,000 円を超える大口資金が預金された事例も少ない。すなわち期末残高でみて、山根信治(明 40/6 期)、入江米吉(41/6 期、42/6~43/6 期、44/6 期、45/6 期)、山本常吉(40/6 期、40/12 期、43/12 期、44/12 期)の 3 人にそれを見ることができる。

これら 1,000 円をこえる大口資金が、いかなる取引から発生したものであるか、知る由もないが、ほとんどが臨時的なものであったことは間違いない。

そして多くの預金者は第 7 表に示したようにすでに小口当座預金口座を開設しているので、別段預金は通常の資金とは区別すべき別用途の資金の受け皿としていたと思われる。別段預金の利率は一定ではなく、預金者によってまちまちであり、時期によって変化している。牧野久治郎、岡崎サダ、山根敏三、山根信治、堀井熊治郎、安藤佳一は日歩 2.2~2.4 銭で、他の預金者が 1 銭台であるのと大きな差がある。ほとんどが数千円の多額の預け入れであり、多額ゆえの優遇と想像されるし、銀行と特別な関係がある者だからであろうか。

(3) 公金預金

公金預金は米原支店で一時発生したことがあるが、第 15 期以降本店で若干の残高が発生し、預金構成上は 1~3%程度で、大きな存在ではない。

第 8 表で、具体的に公金預金の内容をみよう。米原支店で第 4、5 期の残高は、1,300 円程度で、入江村役場からの公金預金であった。支店廃止でそれは解消する。第 15 期から本店に公金預金が発生したが、柏原村長西川瀬太郎名義と柏原村収入役山本善弥名義とがあり、両者で毎期 1,000~3,000 円の残高であった。その出し入れは頻繁で、出納的色彩が濃く、役場の余裕金の長期的運用とは思えない。

第8表 公金預金の内訳

(単位:円)

決算期		入江村役場
第4期	明36/ 6	1,400
第5期	12	1,314

決算期		柏原村長 西川瀬太郎	柏原村収入役 山本善弥	計
第15期	明41/ 12	195	800	996
第16期	42/ 6	375	482	857
第17期	12	375	574	949
第18期	43/ 6	595	252	847
第19期	12	595	3,002	3,597
第20期	44/ 6	889	731	1,619
第21期	12	903	2,171	3,074
第22期	45/ 6	919	941	1,860

[備考]柏原銀行「公金預金元帳」より計算の上作成。

(4) 小口当座預金

小口当座預金は預金構成上終始最大の比重を占め、第1～13期では7割を超えることもあり、第14～22期では5～6割前後が多い。すなわち、当該期の後半では比重が前半期より低下しているわけである。ただし子細にみると、第4～7期の小口当座預金が急増減しており、それには米原支店の開設そして廃止が関係している。すなわち米原支店の存在時期について、本店と米原支店の各種預金残高の推移を第9表で示したが、米原支店開設以降の預金受け入れは本店に匹敵するほどの多額であり、同行全体の預金残高が急増する主因となった。そして同店の廃止により、一部は本店に移管されたものの、ほとんどは解約され、同行の預金残高は急減する姿となったのである。米原支店の預金構成も、公金預金がわずかにあるものの、小口当座が主体で、定期、別段が続くという点では本店と基本的には変わっていない。簡単に言えば預金の受け入れぶりは本店と同様であったといえよう。

同行全体の小口当座預金残高の推移を見ると、明治期を通じて増加傾向をたどるが、12月期に増加し、6月期に減少を繰り返している。つまり季節変動がはらまれているわけで、米作を中心とする農業経済のリズムを反映しているものと思われる。

ところで小口当座預金がいかなる性格の資金で、いかに集積されていったか知りたいところであるが、その解明は資料的に手がかりなく、本稿の分析ではおよび得ない²⁰⁾。元帳から各人別の小口当座預金の残高、入出金を把握して、計数的な面から小口当座預金の内容に接近するほかはない。

開業から5年間に795人の小口当座が開設されたが、第10表は決算期ごとに開設された

第9表 本店・米原支店の預金構成

(金額単位:円、構成比:%)

		第4期 (明36/6/30)		第5期 (明36/12/31)		第6期 (明37/6/30)		第7期 (明37/11/12)	
		本店	米原支店	本店	米原支店	本店	米原支店	本店	米原支店
残高	定期預金	3,838	3,010	4,490	4,392	4,571	1,609	6,703	0
	当座預金			1	366		161	124	0
	小口当座預金	18,934	11,013	19,055	12,777	16,100	10,732	19,215	0
	別段預金	539	1,650	4,166	4,026	4,654	4,013	3,310	0
	公金預金		1,400		1,314				
	計	23,311	17,073	27,711	22,875	25,325	16,514	29,352	0
増減	定期預金			652	1,382	81	-2,783	2,133	-1,609
	当座預金			1	366	-1	-206	124	-161
	小口当座預金			120	1,764	-2,955	-2,045	3,115	-10,732
	別段預金			3,627	2,376	488	-13	-1,344	-4,013
	公金預金			0	-86	0	-1,314	0	0
	計			4,400	5,802	-2,386	-6,360	4,027	-16,514
構成比	定期預金	16.5	17.6	16.2	19.2	18.0	9.7	22.8	
	当座預金				1.6		1.0	0.4	
	小口当座預金	81.2	64.5	68.8	55.9	63.6	65.0	65.5	
	別段預金	2.3	9.7	15.0	17.6	18.4	24.3	11.3	
	公金預金		8.2		5.7				
	計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	

[備考] 柏原銀行の第4～7期「営業報告書」より計算の上作成。

口数を調べ、開設時の預金額を集計し、1口当たりの平均を計算したものである。たとえば開業第1期中には、167人が小口当座預金を開設し、各人が当初預金した金額を合計すると14,205円となり、その平均は85円となっている(ただし、期末に岡崎サダが6,000円で開設、十数日で出金するのは異例なので、それを除けば平均は49円となる)。つまり開業を待ちかねた多くの人々が少額の資金を小口当座に預入れたわけである。そして第2期以降、每期数十口が新規に開設され、小口当座預金者層の広がりがうかがえる。当初預金額が、時には大きいものがあるとはいえ、毎期でみても平均数十円の小口であることが知られる。ちなみに、小口当座を開設しても短期間で解約する者は少なからずあって、5年後の39/12月期で計算してみると492人、残高38,514円と計算される。第1期で開設された167人のうち、5年後に残存しているのは74人(残存率44.3%)、第2期以降の開設者628人のうち、残存しているのは418人(残存率66.6%)である。

第10表 小口当座預金の開設状況

(金額単位:円)

決算期	口数	当初の預金額	1口平均
34 12	167	14,205	85
35 6	94	6,580	70
	12	5,268	62
36 6	44	2,156	49
	12	4,740	116
37 6	64	3,451	54
	12	4,465	93
38 6	49	3,395	69
	12	3,387	65
39 6	70	4,059	58
	12	5,182	64
40 6	65	3,447	53

もう少し小口当座預金者の預金状況を具体的にみてみよう。全員を検討するのは作業的

に困難なので、開業時に開設した小口当座預金に限定し、かつ約5か月間の状況をみたのが第11表である。たとえば牧野久治郎の場合、30円で開設し、11月末までに入金累計685円、出金累計405円で、11月の残高は280円となり、預金が滞留していた期間の積数を計算すると29,120円、それは200円弱を当該期間滞留させたことに相当する。牧野は同行の株主・役員であり、小口当座開設後定期預金や別段預金もしている。各人別にこのようにみていくと、次のような特徴が浮かんでくる。

第1に、開設時の預金が全く動いていない事例が8人おり、それらのほとんどが少額預金者である(不変の表示)。わずかな入出金があっても、もともと少額な預金者が少なからずいる(7人)。

第2に、入出金のすえ残高がゼロとなった事例が10人おり、それらは必ずしも少額預金者とは限らない(零の表示)。また、ゼロとなったとはいえ、必ずしも解約を意味せず、この後取引が継続される者もある。

第3に、積数が多額な者(1万円以上)が13人おり、小口当座を活発に利用した結果であって、資金がかなり滞留していたことを意味する。柏原役場が多額の預金で口座を開き、活発な入出金の結果、積数が10万円を超えているのが注目される。株主の川村寅吉(積数49,185円)、野村久弥(42,296円)が次いで多いことも加えておこう。

これは開業初期の小口当座預金のイメージであり、個人が少額資金を預け、必要に応じて出し入れするものと想像しがちであるが、小口当座預金元帳によって、各人の口座の動きを詳細にみると、予想外の事実が浮上する。すなわち、多額の資金を頻繁に出し入れし、むしろ大口預金というべきものが存在するわけである。その模様を12の事例で示してみよう(第12表参照)。

まず堀江九郎平の小口当座預金を例にとると、明治38年12月期末の残高は518円であるが、期中に入出金が頻繁にあって毎日の残高は大きく変動する。残高が最も少ない日は2円であり、最も多くなっていたのは668円であって、毎日の残高は2ないし668円の間で変化しているわけである。期末残高が1,000円を超えるほど大きいことに驚かされるが、実は期中では一時的にせよもっと大きな残高があったわけで、最多8,305円に及んでいる。43/6期～44/12期の間、少なくとも2,000円以上の残高が毎日続いたわけで、まさに大口資金が長期間預けられたことを意味する。

堀江祖一、古池文太、高木秀三郎、常喜栄太郎、高木弥一、土田常次郎は、期末残高で1,000円超のことが幾度もあり、期中でもしばしば1,000円超の残高が確認される。川村寅

第11表 開設当初の小口当座預金の状況

(金額単位:円)

開設日	番号	預金者名	当初 予金額	11/末までの		残高	34/11末 積数	金融取引状況			株主・役員
				入金	出金			別段	貸越	貸付	
34 7 6	1	宮川房治郎	49	790	790	0	2,736		貸越		株主・役員
34 7 6	2	山本安次郎	70	120	100	20	14,660			貸付	
34 7 6	3	牧野久次郎	30	685	405	280	29,120	定期	別段		株主・役員
34 7 6	4	松浦久雄	50	450	290	190	32,620	定期		貸付	
34 7 6	5	西川瀬太郎	50	500	375	125	18,755				
34 7 6	6	西川志つ	5	55		55	6,445				
34 7 6	7	三田村鋼次郎	22	22		23	3,256				
34 7 6	8	木村節吉	10	95	95	0	6,211				
34 7 6	9	西村生憲	10	35	50	5	1,750				
34 7 6	10	市場芳次郎	10	20		20	235				
34 7 6	11	三輪 恵	70	70	70	0	1,120				
34 7 6	12	三輪卯三郎	150	785	635	150	10,714		貸越	貸付	
34 7 6	13	車戸孫七郎	5	5		5	740				
34 7 6	14	岩田かね	5	5		5	740				
34 7 6	15	岩佐忠次郎	225	225	225	0	900				
34 7 6	16	岩佐みね	6	26	10	16	3,778				
34 7 6	17	宮川志け	10	10		10	1,482	定期			
34 7 6	18	山田常八	15	15		15	2,220				
34 7 6	19	北野藤三郎	10	10		0	620				
34 7 6	20	早苗由蔵	60	60	60	0	8,880				
34 7 6	21	谷田亀蔵	45	80	40	40	5,525				
34 7 6	22	谷田寅吉	20	20		20	2,960	定期			
34 7 6	23	吉田又六	80	230	230	0	10,350				
34 7 6	24	堀井定助	50	270	195	76	12,350		貸越		
34 7 6	25	渋谷又治郎	5	90	90	0	776			貸付	株主
34 7 6	26	畑中太吉	25	335	275	60	15,410				
34 7 6	27	西村こま	5	130	80	50	8,305				
34 7 6	28	畑中とも	10	20	10	10	1,480				
34 7 6	29	松浦良平	40	60		100	14,680	定期			
34 7 6	30	田辺ゆきみ	5	5		5	340				
34 7 6	31	山根きん	5	26	26	0	2,428				
34 7 6	32	松浦千代松	60	790	628	162	21,908		貸越	貸付	株主・役員
34 7 6	33	山根とよ	20	25	3	22	3,188				
34 7 8	34	巖佐愛喜知	20	25	15	5	1,480				
34 7 8	35	岩佐ひさ	5	5		5	730				
34 7 8	36	川村寅吉	50	1,280	1,240	40	49,185				株主
34 7 8	37	北村林蔵	30	36	15	21	3,300				
34 7 8	38	岩崎鉄治郎	10	10	10	0	450				
34 7 8	39	柏原村収入役川村広三郎	600	1,600	450	1,150	104,000				
34 7 8	40	山根 基	40	222	189	33	10,589	定期		貸付	株主
34 7 8	41	山本ゆき	30	170	170	0	3,925				
34 7 8	42	市場利助	10	55		55	5,790				
34 7 8	43	谷口常吉	5	17	15	2	1,049				
34 7 9	44	山根すみ	10	15	10	5	1,010	定期			
34 7 9	45	池田磯八	30	40		70	4,752				
34 7 9	46	宇田新太郎	10	240	240	0	5,925				
34 7 9	47	辻すえの	9	9		9	1,291				
34 7 9	48	山根季三郎	225	225	225	0	20,535				
34 7 9	49	谷口由松	10	25	25	0	852				
34 7 11	50	三輪 広	100	100	100	0	5,300				
34 7 11	51	西村芳雄	57	178	177	1	6,497		貸越		
34 7 11	52	佐々木音吉	250	1,140	1,110	30	3,492				
34 7 11	53	武田静恵	5	5	5	0	235				
34 7 12	54	吉田久之助	20	20	6	14	2,264				
34 7 12	55	畑中つね	50	665	665	0	29,932				
34 7 12	56	山尾しげ	22	22	10	12	2,364				
34 7 12	57	野村久弥	56	633	378	255	42,296				株主
34 7 12	58	上野伝弥	15	15		15	2,130				
		計	2,901	12,816	9,677	3,246	556,055				

[参考]

34 7 18	60	堀井熊治郎	62	82	82	0	2,674		別段		株主
34 7 22	63	宮川卯之助	40	65	65	0	8,290	定期			
34 8 30	104	松浦新太郎	35	350	350	0	12,890		貸越	貸付	株主・役員
34 9 2	109	加藤松治郎	105	415	388	27	5,884	定期		貸付	株主・役員
34 9 7	115	柴栄丹六	40	80		80	6,000	定期			
34 9 28	121	吉居又左衛門	308	514		518	32,832	定期			
34 10 14	126	吉田文助	20	20		0	495		貸越		
34 11 16	141	山口熊太郎	6	11	1	10	106			貸付	

[備考] 柏原銀行「小口当座預金元帳」より計算の上作成。金融取引状況は筆者が補充。

第 12 表 小口当座預金の 12 事例

(単位:円)

堀江九郎平			高木秀三郎			高木弥一			川村真吉		
決算期	最小-最大	残高	決算期	最小-最大	残高	決算期	最小-最大	残高	決算期	最小-最大	残高
明38/12	2-668	518	明37/12	500-603	603	明37/6	300	300	明34/12	1-655	30
39/6	318-1378	1126	38/6	618-733	733	12	200-630	211	35/6	45-650	130
12	926-2506	2343	12	773-796	796	38/6	210-561	556	12	0-855	0
40/6	960-2643	960	39/6	786-845	845	12	471-842	842	36/6	0-797	65
12	585-2280	1734	12	845-1013	1013	39/6	620-1005	330	12	50-870	501
41/6	701-2644	1201	40/6	1110-1142	1142	12	370-1466	1466	37/6	270-850	0
12	4-2276	486	12	1002-1060	1060	40/6	534-1506	631	12	100-850	150
42/6	46-1962	346	41/6	1120-1655	1264	12	374-785	508	38/6	70-520	257
12	426-3924	3924	12	1264-1414	1354	41/6	170-645	196	12	7-650	130
43/6	2444-4799	2444	42/6	0-1655	0	12	261-940	727	39/6	0-719	0
12	2419-6605	6605	12	100-350	154	42/6	630-1485	1403	12	50-900	400
44/6	2086-8305	2086	43/6	186-284	238	12	750-1380	833	40/6	0-1000	20
12	1546-3049	2418	12	48-258	150	43/6	300-873	409	12	80-1100	415
45/6	0-9	9	44/6	140-568	513	12	0-474	474	41/6	50-1060	50
			12	263-612	120	44/6	0-524	33	12	0-1020	9
堀江祖一			45/6	188-370	174	12	0-445	0	42/6	70-750	110
明37/12	200-1476	912	常喜栄太郎			45/6	0-200	1	12	165-1270	630
38/6	0-700	12	明37/6	129-503	129	土田常次郎			43/6	40-1240	90
12	12-1012	1012	12	72-402	260				12	1-1270	640
39/6	0-2000	174	38/6	34-157	34	明37/12	62-527	527	44/6	270-900	110
12	4-1450	151	12	153-1038	1038	38/6	367-507	478	12	30-840	156
40/6	0-1886	1004	39/6	800-1630	833	12	84-408	84	45/6	50-1140	50
12	213-1050	213	12	743-1773	827	39/6	284-438	438	柏原村収入役		
41/6	0-1680	288	40/6	602-1402	627	12	388-992	702	明35/6	150-422	222
12	0-993	180	12	557-907	825	40/6	747-1232	1085	12	125-662	462
42/6	0-310	170	41/6	9	9	12	561-1085	561	36/6	50-760	231
12	0-670	0	12	9	9	41/6	226-556	337	12	60-331	305
43/6	0	1	42/6	9	9	12	407-1092	1053	37/6	0-605	0
12	0-1230	700	12	0	0	42/6	980-1199	1199	12	-1054	954
44/6	0-1590	162	43/6	0	0	12	1259-1540	1540	38/6	184-874	307
12	56-663	513	12	80-654	654	43/6	660-1880	660	12	79-960	696
45/6	0-2492	0	44/6	44-362	362	12	51-1551	274	39/6	105-706	404
古池文太			12	22-732	27	44/6	0-1235	867	12	15-629	335
明37/12	150	1	45/6	91-337	941	12	430-1167	608	40/6	104-583	229
38/6	1-151	104	鹿取徳太郎			45/6	498-1048	838	12	241-1248	1138
12	4-715	90	12	0-1000	880	川端嘉次郎			41/6	450-1558	882
39/6	75-1750	1750	39/6	0-2065	100	12	0-1000	2	12	0-1217	7
12	673-3921	673	12	68-2100	248	40/6	0-1002	50	42/6	7	7
40/6	0-883	36	40/6	0-1200	0	12	0-706	0	加茂神社氏子総代堀江忠治郎		
12	7-1478	7	12	0-500	0	41/6	0-430	0	明40/6	307-2387	1136
41/6	1-1565	1054	41/6	0-950	20	12	45-1100	175	12	879-1169	944
12	67-1106	67	12	70-670	179	42/6	85-275	119	41/6	767-952	767
42/6	2-798	178	42/6	200-1020	148	12	0-700	2	12	95-1025	95
12	8-1102	1102	12	50-970	200	43/6	2-250	1	42/6	95-128	128
43/6	99-1680	99	43/6	20-1000	0	12	0-1550	250	12	128-131	131
12	1-2835	1	12	0-300	1	44/6	0-500	2	43/6	27-29	29
44/6	1-2580	335	44/6	0-401	1	12	0-502	0	12	67	67
12	1-610	45	12	0-600	1	45/6	0-500	2	44/6	103-142	142
45/6	0-1345	0	45/6	0-800	0				12	81-120	96

[備考] 柏原銀行「小口当座預金元帳」より作成。

吉、川端嘉次郎、鹿取徳太郎は、いずれも期末残高では 1,000 円を超えてはいないが、期中では 1,000 円超のことがたびたび発生していることを示している。いずれも期中に大口資金の出し入れが活発にあり、多額の残高となっているわけである。そして個人に限らず役場や寺社でも同様な事例を挙げることができる(柏原村収入役、加茂神社氏子総代など)。

このほかにも期中で1,000円を超す残高を持つ者は数多くおり、次の20人が該当する(傍線は1,000円を超す残高が複数回ある者)。

吉居又左衛門、吉田与吉、野一色源平、清水すう、佐々木音吉、川瀬利吉、岡崎安、岡崎サダ、田中喜六、田中新八---10人

大原村収入役、醒ヶ井村収入役江龍周次郎、柏原村積立金保管人、大宇柏原共有学資金管理人、大宇清滝蓄積金管理人、共有総代古池嘉七、保管人加藤松次郎、円徳寺檀家総代、宝福寺講元総代、石灰業組合総代嶋田力---10人

そして500円を超す残高を持つ者となればさらに多く、64人を数える。500円を超す残高が幾日も続く者はもちろん、500円以下でも数百円の残高が続く者は多くみられ、これらは準大口預金者といえようか。

以上の者は合計96人に及び、明治期に小口当座を開設した千数百人に対し7~8%と推測され、決して少ない数ではない。小口当座預金でありながら、「小口」とはいえない大口、準大口預金なのである。もちろん大部分の「小口当座預金」は、文字通り小口・零細な預金者であるが、大口・準大口の預金者が併存していることに注目したい。小口当座預金の性格を判断するうえで重要な材料であろう。これら大口・準大口預金者はおそらく家計的な小口資金の出し入ればかりでなく、事業上の大口資金の出し入れを行っているものと思われ、通常は当座預金を利用するはずであろう。

(5) 定期預金

定期預金の比重は前半期では1割台から2割に漸増したが、後半期には3割前後に高まり、最高4割の期もあった。ちなみに、小口当座と定期だけで割合を計算してみると、前半期に8割対2割が、後半には6.5割対3.5割へと変化する。つまり定期預金の集積が進展していくわけである。いかなる内容の資金であるかは、次節で詳細に検討する。

- (1) 当座開設時に貸越極度が設定され、貸越利率も定められている。極度設定が当座預金者の資金需要を想定してのことか、当座預金者本人の信用次第か、本人の希望によるのか、資料的に明らかにしえない。極度変更(増額)が若干あるが、多くは長期間固定している。貸越利率にも個人差がかなりあるが、極度が大きいものに低い傾向がみられるものの、差別の理由は明らかでない。
- (2) 同行の「小口当座預金元帳」は預金者別に構成され、各人の入出金が時系列に記載されているが、職業、住所などの記載はなく、計数的考察しかできなかった。

4. 定期預金の分析

それでは同行の定期預金の実態を「定期預金記入帳」によって分析しよう。同帳によれば明治期を通じて135人の預金者が466件の定期預金をしたことが判明する。現実には預金者が一人で複数口に分散していたり、家族名義にしたり(資金源泉は同一)、期日に継続更新したり(同一資金の延長)、さまざまな実態がある。ここでは、個々の定期預金契約を独立のものとして取扱い、それが466件であって、名寄せすると135人となるわけである。

1) 期間別構成

まず、466件の定期預金がどのような契約で預けられたのかを概括しておこう(第13表参照)。2か年契約がただ1件あるのは例外的で、1か年が384件(全体の82.4%)、半年以上1年未満が8件、半年契約が65件、3か月契約が8件であって、圧倒的に1年契約が多い。預金額では通算すると、3か月契約が6.2万円、半年契約が4.4万円であって、1年契約が10万円をこえるものの(全体の48.5%)、圧倒的の多さではない。実は後で示すが、3か月契約には滋賀県農工銀行が11,000円の多額を継続更新した分を含んでいるため、通算した預金額が大きく表示されている。利息は各契約が終了した時に支払われた額で、預金の元本額、滞留期間、利率を反映している。すなわち同じ100円の定期預金でも1年契約は高い利率が適用され、365日分の利息であり、3か月契約は相対的に低い利率が適用され、90日分の利息であるから、大きな差を生ずる。預金額が表面的なものとするれば、利息額は実質的な表示といえよう。事実、第13表での3か月契約は預金額では多額であるが、利息額ではわずかであることを示している。要するに、柏原銀行の定期預金は、ほとんどが1年定期であり、半年定期も若干あるが、3か月は例外的ということである。

第13表 定期預金期間別構成

(金額単位：円、構成比：%)

契約期間	件数		予金額		利息	
		構成比		構成比		構成比
2ヶ年	1	0.2	17	0.0	3	0.0
1ヶ年	384	82.4	101,382	48.5	5,672	73.4
半年以上	8	1.7	1,998	1.0	128	1.7
半ヶ年	65	13.9	43,698	20.9	1,287	16.7
3ヶ月	8	1.7	61,907	29.6	636	8.2
計	466	100	209,002	100	7,726	100

[備考] 柏原銀行「定期預金記入帳」より計算の上作成。

以下、第14～18表も同様。

第14表 定期預金期間別構成の各年別

(金額単位：円)

期間	2ヶ月		1ヶ月		半年以上		半々年			3ヶ月			計		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	平均	件数	金額	利息	件数	金額	利息
34			9	2,281	253	195	1	100		8			10	2,381	204
35			28	4,327	155	347					50	2	29	4,377	349
36			23	3,768	164	223	1	49		2	163	5	29	3,979	229
37			21	4,106	196	241					2,232	80	25	6,338	321
38			30	6,596	220	357					4,150	167	33	10,746	524
39			35	8,711	249	501	1	40		2	1,546	48	42	10,297	551
40			31	6,560	212	382	2	1,477		107	2,507	83	42	10,544	571
41			43	12,378	288	642					600	24	47	12,978	666
42	1	17	33	10,270	311	622					460	16	5	28,907	285
43			43	16,854	392	846	2	232		7	11,887	239	3	33,000	351
44			60	18,400	307	955	1	100		3	14,869	467	74	33,369	1,444
45			28	7,131	255	362					5,235	157	34	12,366	519
計	1	17	384	101,383	264	5,672	8	1,998	128	1,288	43,698	672	8	61,907	636
													8	209,003	7,729

これを時期的にみると(第 14 表参照)、創業以来毎年、1 年定期が圧倒的に多く、半年定期がわずかある程度という状況が続いている。1 年定期の件数が毎年漸増し、1 件当たりの平均が 150 円程度から 300 円台にまで大型化していることがうかがえ、半年定期は件数こそ少ないが、年によって 1 件当たり平均が多額なのは大口の預け入れがあったことを意味しよう。別言すれば大口者は 1 年定期でなく、半年を選んでいたといえよう。滋賀県農工銀行が 42、43 年に 1 万円を超える定期を 3 か月更新継続したことは前述したが、個人で 3 か月定期をしたのは 42 年に 3 件あるのみで、創業以来 3 か月定期をする者はほとんどなかったといってよからう。定期預金といえば 1 年定期が当たり前で、大口資金が時に半年定期を選ぶという程度、3 か月定期は考慮外であったのである。

2) 受入金額別構成

次に受入金額を 7 つの階層に区分して考察してみよう(第 15 表参照)。「1 万円以上」の定期は 5 口、すべて滋賀県農工銀行分で、累計 5.9 万円の多額である。具体的に言えば、42.11.16 に 3 か月定期で 1.1 万円が預けられ、満期日に 3 回更新しており(同一資金が 3 回更新で、1 件ずつ独立の取引とみれば累計 4.4 万円)、それとは別に 42.12.1 に 1.5 万円が同じく 3 か月定期で預けられ、3 か月弱で解約されたのが実態である。柏原銀行にとって明治期を通じて異例な定期預金受け入れというべく、農工銀行側の事情は不明だが、余裕金の運用と想像される⁽¹⁾。

「2,000 円以上」の区分には 17 件あるが、東黒田村万願寺の堀江祖一 6,700 円が最も多額で、東黒田村長岡の古池文太 4,400 円がそれに次ぎ、同村長岡の堀江九郎平 8 件(各 2,000 円)、彦根町の北川九郎平 4 件(各 3,500~3,774 円)、柏原村柏原の牧野久治郎(柏原銀行の大

第 15 表 定期預金受入金額構成

(金額単位：円、構成比：%)

金額区分	件数	予金額		利息		
		構成比	構成比	構成比	構成比	
10000円以上	5	1.1	59,000	28.2	587	7.6
2000円以上	17	3.6	47,630	22.8	1,897	24.5
1000円以上	21	4.5	23,447	11.2	942	12.2
500円以上	42	9.0	27,725	13.3	1,417	18.3
100円以上	241	51.7	44,867	21.5	2,471	32.0
50円以上	74	15.9	4,490	2.1	312	4.0
50円未満	66	14.2	1,842	0.9	99	1.3
計	466	100.0	209,002	100.0	7,726	100.0

株主・重役)3件(各2,000円)であって、わずか5人でありながら預金額全体の23%(47,630円)を占め、利息でも25%弱となっている。

「500円以上2,000円未満」の区分では、63件(全体の13.5%)、預金額で51,172円(24.5%)、利息額で30.5%を占めるが、その中には大垣の安藤泰一6件(各1,000~1,430円)や東黒田村堂谷の医師常喜栄太郎9件(各500~1,000円)のような個人大口預金者があり、加茂神社氏子総代6件、勝専寺6件、日枝神社担当者4件、津嶋神社3件などの社寺、柏原村村長5件、柏原外3大字積立金3件、長久寺清滝梓河内蓄積金2件など団体の資金が含まれているのが注目される。

最も件数が多いのは「100円以上」の区分で、241件(全体の51.7%)、預金額で44,867円(21.5%)、利息で32%を占める。100円未満も件数こそ140件(全体の30.1%)と多いものの、預金額、利息ともにわずかである。

3) 定期預金者の職業別構成

明治期の定期預金は466件であったが、1人で幾口も持つ場合、何回も継続する場合がありますので、名寄せすると135人の定期預金者があったことになる。定期預金の資金的性格をみるために、定期預金者の職業を見たのが第16表である。非個人については、企業はなく、団体、銀行、神社、寺、講に分類できるが、個人の職業については原則として定期預金記入帳に記載された通り農、商、医師、教員、僧、駅員、雑、無職に分類したが、一部曖昧なところがあるので補正した⁽²⁾。

第1に、個人が116人(全体の86%)、非個人19で、定期預金者の数では圧倒的に個人中心である。件数でも個人は370件(全体の79%)で、圧倒的である。預金額では、個人の比重は12万円弱で、全体の56%と低くなっているのは、非個人に滋賀県農工銀行の約6万円が含まれていることが影響しているからである。利息額でみると、個人は69%、非個人は31%であって、預金額よりも両者の対比がよく表れている。つまり定期預金の大部分は多数の個人預金者によるものであるが、少数とはいえ比較的大口の非個人分も併存しているわけである。

第2に、個人定期預金者の大部分は「農」であって、90人(全体の67%)が平均3件ずつの定期をしている計算となる。「商」は「農商兼業」を合わせても12人にすぎないが、金額が多いのは大口預金者がいるためである。すなわち、「商」には彦根町の北川九郎平(4件、14,529円)、大垣の安藤泰一(7件、7,630円)があり、「農商」には東黒田村長岡の堀江

第 16 表 定期預金者の職業別

(単位：円)

職業	人数	件数	金額	利息	1人平均額
農	90	288	60,629	2,832	674
(構成比)	66.7%	61.8%	29.0%	36.7%	
商	8	21	24,000	708	3,000
(構成比)	5.9%	4.5%	11.5%	9.2%	
農・商	4	12	17,290	942	4,323
(構成比)	3.0%	2.6%	8.3%	12.2%	
医	3	22	11,113	575	3,704
僧	2	5	760	38	380
教員	6	14	3,510	184	585
駅員	1	2	205	21	205
雑	1	3	164	11	164
無	1	3	87	6	87
小計	116	370	117,758	5,318	1,015
(構成比)	85.9%	79.4%	56.3%	68.8%	
団体	9	22	9,241	525	1,027
銀行	1	5	59,000	587	59,000
神社	3	33	14,850	766	4,950
寺	3	26	7,443	493	2,481
講	3	10	709	35	236
小計	19	96	91,243	2,407	4,802
(構成比)	14.1%	20.6%	43.7%	31.2%	
合計	135	466	209,002	7,724	1,548
(構成比)	100	100	100	100	

九郎平(8件、16,000円)がいるからで、それを除いた「商」「農商」には多額預金者はいない。「商」と分類された者がいかなる商売を営んでいるのかは材料不足で不明のままである(北川九郎平が呉服商であることだけが判明しているが)。

医者が3人いるが、東黒田村堂谷で開業していた常喜栄太郎が特別の存在である。すなわち20件、10,880円の大口預金者で、まさに別格といえよう。

第3に、非個人では、滋賀県農工銀行がすでに登場しているが、団体、神社、寺とも、人数こそ少ないものの、それぞれが定期を多数口持っていることが注目される。たとえば神社は、東黒田村万願寺の加茂神社6件(5,135円)、柏原村柏原の津嶋神社13件(3,887円)、と日枝神社14件(5,820円)、寺では柏原村柏原の勝専寺17件(6,292円)と成菩提院8件(1,066円)のごとくである。

団体では、村役場が管理している各種基金、集落などの蓄積金が定期として預けられている。具体的に言えば柏原村基本金、柏原学校基本金、柏原外三大字蓄積金、長久寺清滝梓河内蓄積金、柏原村長、柏原村総代、万願寺総代、小谷前長沢前村中などいろいろあるが、1年定期で継続更新している場合が多く、余裕金の運用とみられる。また、講はすべ

て寺関係の講ばかりで、集められた資金が幹事名義で定期にされているが、概して少額である(大原村の吉西寺講は 533 円で例外的にやや多額であるが)。柏原の勝専寺講と勝栄寺講の幹事は牧野久治郎(柏原銀行の大株主・重役)であるから、彼の縁で両講の資金が柏原銀行の定期に持ち込まれたのであろう。

4) 地域別構成

定期預金記入帳には預金者の住所が記載されており、それによって定期預金がどこから集められていたのかが判明する。第 17 表参照。また、同行の営業地域を示した第 1 図も参照。

第 1 に、定期預金者のほとんどが坂田郡居住者であり(124 人、全体の 92%)、郡内各村に広く分布している。本店のある柏原村を起点とすれば、中山道の宿場があった今須村、柏原村、醒ヶ井村の街道筋 3 村、北に接する東黒田村、さらに北で長浜に近い大原村、息吹山麓というべき春照村、醒ヶ井の北に位置する息長村、やや離れた米原の入江村という位置関係にある。柏原村と隣接する今須村は岐阜県不破郡に属するが、柏原の経済圏に包摂されている。

第 2 に、坂田郡以外の定期預金者といえば、極めてわずかである。大津に本店を置く滋賀県農工銀行、彦根の呉服商北川九郎平、大垣の商人と推測される安藤泰一⁽³⁾、いずれも多額の定期預金者であった。ただし北川や安藤がなぜ地理的に離れた柏原銀行に定期預金をしたのか残念ながら明らかにしえない。岐阜県不破郡荒崎村が登場するのは、同行の大株主・重役である岡崎安がそこに住んでいただけのことである。

第 3 に、坂田郡居住者の定期預金者といっても、柏原村在住が圧倒的に多い。すなわち、人数で 79 人(全体の 59%)、件数でも 309 件(全体の 66%)、預金額 6.3 万円(全体の 30%)であり、そのなかでも本店のある大字柏原地区からの定期預金が圧倒的である。同地域はかつて柏原宿で栄え、商家も残存し、東海道本線柏原駅を擁し、特別の経済力を持つ地域であるが、宿場町の流れを汲む牧野久治郎、牧野孫十郎、松浦久雄、松浦良平など有力者からの大口預金があり、また津嶋神社、日枝神社、勝専寺などの寺社からもすくなからぬ預金があった。ただ、柏原村内でも、純然たる農村というべき大字須川、大字大野木、大字梓河内、大字清滝にも定期預金者は散在しているが、件数も少なく、預金額も少ない。

次いで定期預金が多いのは東黒田村である。人数は 15 人(全体の 11%)、件数 57 件(全体の 12%)にすぎないが、預金額では約 5 万円(全体の 24%)と柏原村に次いで多額である。な

第 17 表 定期預金者の地域別

		(金額単位：円)			
地 域 名		人数	件数	予金額	利 息
坂田郡柏原村	柏原村大字柏原	74	293	61,883	3,383
	柏原村大字須川	4	7	297	17
	柏原村大字大野木	2	5	250	17
	柏原村大字梓河内	3	5	1,766	97
	柏原村大字清滝	1	1	100	0
	小 計	84	311	64,296	3,514
	(構成比)	59.6%	66.7%	30.8%	45.5%
坂田郡醒ヶ井村		1	3	1,050	57
坂田郡入江村		1	3	115	6
坂田郡息長村	息長村大字寺倉	2	5	760	38
	息長村大字箕浦	3	4	367	26
	小 計	5	9	1,127	63
坂田郡東黒田村	東黒田村大字長岡	7	21	23,634	1,065
	東黒田村大字堂谷	1	20	10,880	567
	東黒田村大字万願寺	5	14	14,952	689
	東黒田村大字本郷	1	1	50	2
	東黒田村大字梅原	1	1	210	11
	小 計	15	57	49,726	2,334
	(構成比)	10.6%	12.2%	23.8%	30.2%
坂田郡大原村	大原村大字朝日	2	3	603	29
	大原村大字池下	1	7	410	23
	大原村大字市場	1	1	35	2
	大原村大字岩ヶ谷	1	2	850	38
	大原村大字下夫馬	1	4	240	15
小 計	6	17	2,138	106	
坂田郡春照村	春照村大字村木	16	35	4,311	205
	春照村大字大清水	2	5	876	43
	小 計	18	40	5,186	248
	(構成比)	12.8%	8.6%	2.5%	3.2%
坂田郡以外					
美濃国不破郡今須村		6	8	2,363	120
美濃国不破郡荒崎村	岡崎 安	1	1	1,500	117
犬上郡彦根町上川原	北川九郎平	1	4	14,530	394
犬上郡福満村大字西今		1	1	340	7
大津市	滋賀県農工銀行	1	5	59,000	587
京都市上京区吉田町	安藤泰一	1	7	7,630	173
小 計		11	26	85,363	1,398
	(構成比)	7.8%	5.6%	40.8%	18.1%
合 計		141	466	209,002	7,726

かでも大字長岡地区は大口預金者堀江九郎平がいるため 2.4 万円と多額であり、大字万願寺地区も大口預金者堀江祖一がいるため 1.5 万円の多額であり、大字堂谷地区は医師常喜栄太郎一人だけで 1.1 万円の多額である。ちなみに長岡地区は、東海道本線近江長岡駅や市街地を含んでおり、養蚕・製糸業が発展したころは柏原地区と並んで物資の集散地でも

あった。

さらに、東黒田村の北に広がる大原村では5つだけの地区(大字朝日、大字池下、大字市場、大字岩ヶ谷、大字下夫馬)に定期預金者が散在し、伊吹山麓の春照村では2つだけの地区(大字村木、大字大清水)に散在し、いずれも少額の預金者である。

他方、醒ヶ井から米原に連なる農村地域では、醒ヶ井村、息長村、入江村の各村にわずかの定期預金者がいるのみで、預金額も少額である。

定期預金者が坂田郡内諸村に広く分布しているというものの、村内のごく一部の集落にぼつりぼつりと点在しているごとくである。柏原・長岡地区を除けばすべて純然たる農業地域である。

農業以外といえば、醒ヶ井には石灰の採石場があり、石灰業者がいたし(大鹿にも採石場があったという)、梓河内から山中に入れば林業があり、今須から山中に向かえば製材業者がいる程度である。

5) 継続性

それでは定期預金はどれだけの期間預けられたのか。個々の定期預金について預金日から支払日までの期間(滞留日数)を計算してみると、第18表のごとくとなる。契約期間通り滞留したもの(「契約通り」、満期日を超えてなお滞留したもの(「契約超」、満期日前に解約されたもの(「中途解約」)と分類して考察する。

まず1年契約の定期384件では、契約通りが204件(53%)であって、その預金額6万円強は1年定期全体の58%を占め、契約超は78件、1.7万円であるから、両者合わせると1年以上滞留した定期は件数で74%、預金額で73%に及ぶことになる。1年定期の3/4までが1年以上滞留の安定した資金であったことを意味しよう。

逆に言えば中途解約は102件、2.8万円を数えるが、1年にわずか10日足りないもの(「契約通り」に準ずるとみてよかろう)、半年以上滞留したものがかなりあって、半年以内に早々と中途解約したのはわずか23件、6,109円にすぎない。

半年以上1年未満の定期8件では、中途解約は2件にすぎず、半年契約の定期65件でも、中途解約は11件だけで、3か月定期8件では中途解約はない。1年定期以外でも、契約通り、契約超がほとんどであって、安定した資金の預け入れであったといえよう。

以上では、個々の定期預金について解約に至るまでの滞留期間を問題としたが、実際には、設定された定期が満期日に更新され、延々と滞留することも多い。同一資金が期日に

第 18 表 本店定期の期間分類

(金額単位：円)

		口数	予金額	利息	契約日数	滞留日数
2年契約	契約超	1	17	3	730	1,096
1年契約	2年以上	6	538	79	365	730~1,461
	1年半以上	7	741	57	365	565~687
	1年以上	31	7,889	449	365	375~543
	10日超	34	7,954	470	365	367~374
	契約通り	204	62,363	3,322	365	364~366
	10日未満	25	10,530	610	365	356~363
	半年以上	54	11,259	606	365	183~355
	中途解約	23	6,109	80	365	6~181
	小計	384	107,383	5,673		
11か月	契約超	1	100	8	330	425
9か月	契約超	3	1,587	111	270	318~453
	契約未満	2	162	5	270	153~253
8か月	契約通り	1	100	3	240	213
半年以上	契約通り	1	49	2	190	188
半年契約	契約超	17	12,825	413	183	185~408
	契約通り	37	20,540	569	183	181~184
	10日未満	5	2,280	139	183	172~180
	中途解約	6	8,053	166	183	13~167
	小計	65	43,698	1,287		
3か月	契約超	1	107	6	90	364
	契約通り	7	61,800	630	90	89~93
合計		466	209,002	7,726		

更新継続されれば、設定日から最後に支払われた時までの期間を実質的な滞留期間とみるべきであろう。その検討した結果を第 19 表にかかげた。

明治期を通じて定期預金は 466 件あったが、135 件は約定期間で解約され(期日後流れているものもあるが)、継続されていない。残る 331 件は一定条件で検討の結果、更新継続されたものと推定され、実質 105 件が該当する⁽⁴⁾。ある定期は 1 回だけの更新であり(表面的には 2 件に相当)、ある定期は 11 回も更新され(表面的には 12 件に相当)、103 件がそれぞれ更新継続しているため、表面的に計算すれば 331 件になるわけである。

105 件の定期は、継続回数で見れば 11 回を最高に、10 回 1 件、9 回 1 件、8 回 1 件、7 回 2 件、6 回 6 件、5 回 8 件、4 回 6 件、3 回 10 件、2 回 13 件、1 回 60 件に分かれる。1 回継続が 6 割弱を占め多いことは確かであるが、5 回以上が 19 件もあることも注目される。しかし同じ継続回数でも 1 年定期と半年定期では、滞留期間が異なるわけで、回数の多さ

第19表 継続された定期の滞留日数

(金額単位：円)

預金日	預金者	職業	期限	利率	預金額	支払金額	回数	支払日	日数
42. 7. 26	安藤泰市	雑	3ヶ月	6分3厘	1,400	1,400	2	43. 1. 23	181
43. 6. 23	安藤泰一	雑	半ケ年	5分3厘	1,000	1,000	6	2. 7. 10	1,113
45. 7. 5	上村津江	農	半ケ年	5分	20	21	3	2. 12. 25	538
40. 12. 24	上村富三郎外2人	農	1ケ年	5分8厘	40	42	2	42. 10. 1	647
44. 9. 20	上村富三郎外2人	農	1ケ年	4分7厘	22	23	2	1. 12. 25	462
38. 8. 27	上村富三郎外3人	農	1ケ年	6分5厘	35	37	2	40. 9. 25	759
40. 9. 3	江龍清城	農	半ケ年	6分1厘	300	300	2	42. 4. 15	590
42. 12. 16	江龍清城 星居德音	雑	1ケ年	5分5厘	160	150	8	6. 12. 15	2,921
37. 2. 6	大字柏原外三大大字積立金管理者川村広三郎	雑	1ケ年	5分5厘	681	719	2	38. 12. 3	666
41. 12. 24	大字万願寺総代丸本安市	寺	1ケ年	7分	297	718	2	43. 2. 4	407
40. 5. 2	柏原学校基本金管理者村長西川瀬太郎	雑	1ケ年	5分8厘	100	107	2	42. 7. 8	798
40. 5. 2	柏原村基本金管理者村長西川瀬太郎	雑	1ケ年	5分8厘	100	107	2	42. 7. 8	798
44. 9. 16	柏原村総代野村久弥、山本三太郎	雑	1ケ年	4分7厘	143	150	2	2. 9. 16	731
44. 4. 18	勝栄寺講幹事 牧野久治郎	講	1ケ年	4分8厘	15	15	2	2. 4. 29	742
35. 12. 27	勝専寺	寺	1ケ年	6分2厘	236	620	5	40. 12. 27	1,826
41. 1. 4	勝専寺	寺	1ケ年	5分8厘	200	906	3	43. 1. 6	733
41. 12. 24	加茂神社氏子総代堀江祖一	神社	1ケ年	7分	930	500	6	45. 6. 24	1,278
35. 5. 8	川村うえ	商	1ケ年	7分5厘	70	70	2	36. 5. 9	366
43. 9. 30	北川九郎平	商	半ケ年	4分7厘	3,500	3,582	2	44. 9. 30	365
44. 9. 14	北川九郎平	商	半ケ年	5分5厘	3,674	4,707	8	4. 9. 3	1,450
38. 8. 25	北村国五郎	農	1ケ年	6分5厘	350	500	2	40. 2. 28	552
40. 3. 7	北村国五郎	農	6ヶ月	6分	515	530	2	41. 3. 2	361
37. 2. 12	小谷前世話分松浦千代松	雑	1ケ年	5分5厘	87	120	2	39. 9. 2	933
42. 2. 25	小谷前長沢前村中	雑	1ケ年	6分	137	230	2	44. 2. 25	1,095
40. 8. 29	柴栄志ず	農	半ケ年	5分8厘	15	15	4	45. 4. 13	1,689
45. 7. 9	柴栄丹六	農	1ケ年	5分2厘	100	100	2	3. 7. 10	731
35. 3. 28	小路政太郎、石川元吉	農	1ケ年	7分5厘	50	50	4	39. 7. 2	1,557
40. 3. 30	村長西川瀬太郎	雑	9ヶ月	5分8厘	708	708	3	43. 8. 4	1,223
40. 3. 30	村長西川瀬太郎	雑	9ヶ月	5分8厘	769	769	2	41. 8. 25	514
38. 10. 26	谷口勝三郎	農	1ケ年	6分5厘	47	50	2	40. 11. 7	742
34. 7. 22	津嶋神社	神社	1ケ年	7分5厘	150	350	2	36. 7. 23	736
34. 7. 22	津嶋神社	神社	1ケ年	7分5厘	150	150	2	36. 7. 14	722
34. 8. 8	津嶋神社	神社	1ケ年	7分5厘	200	214	3	37. 8. 9	1,097
44. 2. 21	常喜栄太郎	医	1ケ年	4分5厘	1,000	1,000	2	1. 11. 29	647
39. 4. 16	富田勇太郎	農	1ケ年	6分5厘	100	100	2	41. 4. 17	732
43. 7. 7	中川市次郎	農	1ケ年	5分	200	200	2	45. 2. 3	576
35. 1. 6	成菩提院	寺	1ケ年	7分5厘	200	215	2	37. 1. 6	730
35. 4. 4	成菩提院	寺	1ケ年	7分5厘	100	108	2	37. 1. 14	650
35. 10. 1	成菩提院	寺	1ケ年	年7分	108	115	2	37. 10. 1	731
43. 7. 26	仁木幸三	農、職員	1ケ年	5分	100	124	6	7. 1. 25	2,740
43. 8. 20	西川みよ	農	半ケ年	4分2厘	340	366	4	2. 2. 19	914
43. 10. 8	西村吉哉	農	1ケ年	4分3厘	100	100	2	1. 10. 8	731
45. 10. 14	西村吉哉	農	1ケ年	5分8厘	100	100	5	6. 10. 17	1,829
40. 2. 13	西村とみの	農	1ケ年	5分8厘	15	15	2	42. 12. 31	1,142
44. 3. 13	西村與惣五郎	農	1ケ年	4分5厘	160	160	2	2. 3. 13	731
45. 6. 18	西村與惣五郎	農	1ケ年	5分2厘	100	100	2	3. 6. 18	730
41. 10. 9	西村米弥	農	1ケ年	6分	100	100	2	42. 10. 20	376
42. 11. 16	滋賀県農工銀行	銀行	3ヶ月	4分7厘	11,000	11,000	4	43. 11. 10	359
41. 2. 15	畑中いさ	商、農	1ケ年	5分8厘	50	50	6	6. 2. 12	3,285
39. 12. 25	畑中正男	農	1ケ年	5分8厘	50	50	2	41. 12. 25	731
40. 2. 8	林弥藤治	農	1ケ年	5分8厘	75	85	3	42. 3. 24	775
35. 5. 28	日枝神社	神社	1ケ年	7分5厘	430	593	7	41. 10. 10	2,327
35. 6. 18	日枝神社	神社	1ケ年	7分5厘	215	417	6	41. 10. 16	2,312
39. 11. 1	日比慶治郎	農、教員	1ケ年	5分8厘	200	212	2	41. 11. 1	731
41. 11. 16	日比慶治郎(日比野)	教員	1ケ年	5分8厘	424	655	9	6. 7. 31	3,179
37. 8. 23	藤田嘉平	農	1ケ年	6分	60	60	4	41. 8. 25	1,563
44. 5. 29	保知のえ	農	1ケ年	4分5厘	300	250	4	4. 5. 29	1,461
45. 1. 4	堀田茂七	農	1ケ年	5分	35	53	4	4. 1. 9	1,101
39. 8. 18	堀江九郎平	農、商	1ケ年	6分3厘	2,000	2,000	6	45. 8. 18	2,192
43. 8. 1	堀江九郎平	農、商	1ケ年	5分1厘	2,000	2,000	2	45. 8. 1	731
45. 8. 17	堀江九郎平	農、商	1ケ年	6分5厘	2,000	2,000	2	3. 5. 17	638
38. 5. 30	堀江すて	農	1ケ年	6分5厘	46	59	5	43. 5. 31	1,827

40. 4. 8	堀江すて 担当者牧野久治郎	農	1ヶ年	5分8厘	55	60	10	3. 5. 16	2,595
39. 12. 29	堀江とみ	農	1ヶ年	5分8厘	221	289	6	45. 12. 29	2,192
44. 12. 25	堀江平治	農	半ヶ年	5分	200	200	6	3. 12. 29	1,100
40. 10. 23	牧野きね	農	1ヶ年	5分8厘	101	107	3	43. 10. 24	1,092
38. 6. 21	牧野忠吉	農	1ヶ年	6分5厘	42	55	3	41. 10. 23	1,220
38. 9. 6	牧野忠吉	農	1ヶ年	6分5厘	50	50	2	40. 7. 10	672
43. 6. 22	牧野忠吉	農	1ヶ年	4分8厘	100	105	2	45. 6. 26	735
34. 8. 9	牧野とみ	農	半ヶ年	7分	455	471	2	36. 2. 9	549
36. 2. 9	牧野とみ	農	1ヶ年	6分2厘	179	277	12	4. 3. 20	4,422
43. 7. 25	牧野とみ	農	1ヶ年	5分	400	430	3	2. 7. 25	1,096
37. 9. 12	牧野久治郎	農	半ヶ年	7分3厘	2,000	2,000	2	38. 7. 13	304
36. 4. 4	牧野孫十郎	農	1ヶ年	6分	60	60	4	40. 4. 4	1,461
37. 8. 25	牧野孫十郎	農	半ヶ年	6分	150	150	2	38. 8. 25	365
38. 8. 28	牧野孫十郎	農	1ヶ年	6分5厘	250	350	2	40. 8. 26	728
41. 3. 2	牧野孫十郎	農	半ヶ年	5分8厘	150	150	5	44. 9. 6	1,283
41. 11. 21	牧野孫十郎	農	半ヶ年	6分	150	200	2	45. 1. 4	1,139
43. 9. 6	牧野孫十郎	農	1ヶ年	4分7厘	100	100	3	2. 9. 6	1,096
44. 8. 3	牧野孫十郎	農	1ヶ年	4分8厘	100	100	2	2. 8. 3	731
44. 9. 6	牧野孫十郎	農	1ヶ年	4分8厘	150	150	2	2. 9. 2	727
44. 9. 28	牧野孫十郎	農	1ヶ年	4分8厘	100	100	2	2. 2. 25	516
43. 5. 4	松浦貞	農	1ヶ年	5分	100	100	2	45. 5. 4	731
37. 9. 5	松浦久雄	農	1ヶ年	6分	100	100	2	39. 1. 19	501
37. 10. 18	松浦久雄	農	1ヶ年	6分	100	100	2	39. 1. 19	458
39. 6. 25	松浦久雄	農	1ヶ年	6分	200	200	2	41. 6. 25	731
39. 8. 11	松浦久雄	農	1ヶ年	6分	150	207	5	2. 5. 10	2,464
41. 10. 7	松浦久雄	農	1ヶ年	6分	100	100	2	43. 10. 7	730
42. 9. 16	松浦久雄	農	半ヶ年	5分7厘	100	100	2	45. 9. 16	1,094
43. 10. 10	松浦久雄	農	1ヶ年	4分3厘	150	160	3	3. 10. 12	1,463
44. 6. 26	松浦久雄	農	1ヶ年	4分7厘	100	100	2	2. 6. 25	730
35. 9. 5	松浦良平	農	1ヶ年	7分5厘	100	100	3	38. 1. 20	868
43. 8. 11	松本たけ後 見人 聳止 淨勲	農、雑	1ヶ年	4分5厘	110	100	5	12. 8. 14	3,290
39. 4. 11	宮川志津	農	半ヶ年	6分5厘	170	126	2	40. 5. 13	397
40. 7. 8	宮川志津	農	半ヶ年	5分8厘	111	123	4	45. 3. 3	1,700
39. 11. 8	守田甲治郎	商	1ヶ年	5分8厘	300	300	2	41. 1. 18	436
35. 11. 1	守田直八	商	1ヶ年	年6分	212	251	4	39. 11. 8	1,468
35. 10. 22	柳野宋之丞	農	半ヶ年	年6分	50	20	2	36. 10. 22	365
45. 3. 1	山崎多平	農、商	1ヶ年	5分1厘	1,100	1,156	3	3. 3. 1	730
45. 7. 15	山根 基	農	1ヶ年	5分8厘	117	136	2	2. 12. 5	508
36. 2. 18	山根ちえ	農	半ヶ年	5分8厘	30	32	3	37. 8. 16	545
36. 8. 18	山根ちえ	農	半ヶ年	5分8厘	49	50	2	37. 8. 16	364
39. 1. 4	山本きく	農	1ヶ年	6分5厘	45	68	2	41. 1. 4	730
44. 8. 26	山本常吉	農	1ヶ年	5分2厘	500	526	2	2. 3. 25	577
39. 10. 1	吉居利七	農	1ヶ年	6分	105	112	2	41. 12. 27	818
105件					46,918	50,918			

だけで判定するわけにはいくまい。設定日から解約日までの期間、すなわち滞留日数こそ正確な滞留期間の尺度といえよう。第19表の滞留日数から言えることは次のようである。

第1に、滞留日数の最多は牧野とみで、明治36年2月9日から大正4年3月20日の解約日まで4,422日に及び、11回継続更新し、最初の預け額179円は利息が元加して、解約時には277円となっている。実に12年間の長さである。以下、滞留期間が9年は2件、8年以上は2件、7年以上2件、6年以上は5件、5年以上3件、4年以上9件、3年以上15件、2年以上34件と続く(合計73件)。1年以上28件、1年未満2件という具合である。2年以上続くといえば、まさに安定した長期預金といえよう。

第2に、当初の預金額がそのまま継続更新しているものは42件(継続時に定期預金利息

だけ受け取って元本だけを継続)、元加あるいは増額継続は 56 件、減額継続は 5 件にすぎない。

第 3 に、第 19 表に掲げたのは継続更新したと推測されるものを列挙したのであって、個人別にみた場合、複数口の定期を持ち、そのなかで継続更新したものだけが取り上げられたということである。たとえば牧野とみでは、前掲の 4,422 日滞留した定期のほか 400 円が 1,096 日続いたもの、455 円が 549 日続いたものがあるほか、継続せずに解約したものが 1 件あるし、牧野孫三郎は更新継続が 9 件あるが、継続しないものも 8 件あるという具合である。逆に常喜栄太郎は、継続更新は 1 件のみで、あとの 18 件は満期日に解約している。定期預金者により預金行動はまちまちであり、一定の傾向は見いだせない。

第 4 に、更新継続するのは中・少額預金ばかりとは限らない。1,000 円を超える大口預金でも幾度も更新継続しているものがある。たとえば堀江九郎平は当初預金額 2,000 円を 1 年契約で 7 回更新、8 年間滞留させ、北川九郎平は 3,674 円を半年契約で 7 回更新、4 年間滞留させ^⑤、安藤泰一は 1,000 円を半年契約で 5 回更新、3 年間滞留させ、山崎多平は 1,100 円を 1 年契約で 2 回更新、2 年間滞留させ、常喜栄太郎は 1,000 円を 1 年契約で 1 回更新、1.8 年間滞留させ、牧野久治郎は 2,000 円を半年契約で 1 回更新、1 年間滞留させ、滋賀県農工銀行は 11,000 円を 3 か月契約で 3 回更新、通算 1 年間滞留させている、という具合である。

6) 定期預金者の性格

すでに定期預金者についてその職業や居住地から若干の性格づけをしたが別な側面から性格付けを補強してみよう。

(A) 役員・株主

柏原銀行の役員・株主は同行とどれほどの金融関係を持っていたのか。第 20 表参照。創業当初の株主は 18 人、頭取以下役員 8 人はすべて大株主であった。役員のうち定期預金があったのは牧野久治郎、岡崎安、加藤松次郎の 3 人にすぎない。頭取の山根佐太郎自身には定期預金はないが、妻山根基に定期があるので、一体とみれば 4 人、役員 8 人のうちの半数が定期をしていたことになる。役員だからと言ってかならずしも定期をしているわけでない。預金額もそれほど多額でもない。そして役員のうち 6 人が小口当座を開設しており、7 人に借入・当座借越がある。役員が多くが預金をし、借入もして、銀行をかなり利用していたとはいえよう。

第 20 表 柏原銀行の役員・株主の金融取引

役 職	第1期		第22期	定期 (積数)円	金融取引			
	明34/12	株数	明45/6		小口	当座	別段	貸付
取締役	三輪熊太郎	83	90					貸付
取締役	牧野久治郎	72		972,000	小口		別段	貸付
頭取	山根佐太郎	70	75		小口			
取締役	宮川房治郎	70	70		小口			貸付
取締役	岡崎 安	50	90	258,000		当座	別段	
	岡崎 サダ	50			小口		別段	
取締役	松浦千代松	30	30		小口			貸付
	山根 基	30	30	76,577	小口			貸付
監査役	松浦新太郎	30	3		小口			貸付
取締役	加藤松次郎	30	35	381,400	小口			貸付
	牧野孫十郎	20	5	1,156,660	小口			貸付
	松浦久雄	17	17	1,310,888	小口			貸付
	牧野とみ	13	5	1,531,968				
	堀井熊治郎	10			小口		別段	貸付
	野村久弥	10	10		小口			
	渋谷又治郎	5			小口			貸付
	加藤悟三	5						
	川村寅吉	5	5		小口			
	牧野文治		90	1,158,000				
	古池文太		30	466,400	小口	当座		貸付
	田中才治郎		5					
	宮部七十七		5				別段	貸付
	山本善弥		5		小口			
		18人 600株	18人 600株	9人	16人	2人	5人	13人

〔備考〕 柏原銀行「営業報告書」の株主名簿、第21表の定期預金者の積数各人別により作成。金融取引は筆者が補充。

役員以外の株主 15 人にも定期を多額にした者がおり(牧野孫十郎、松浦久雄、牧野とみ、牧野文治、古池文太、山根基)、多くの者が小口当座を開設し(9 人)、借入している者(7 人)もあって、まったく金融関係が確認できなかったのは 2 人だけである。

(B) 資産家

次に、「滋賀県資産家一覧表」(興信会発行、明治 43 年 11 月編纂)によって定期預金者に「資産家」といえるものがどれだけいるかを検討してみよう。同表では年間所得 400 円以上の者を選び出し、所得階層別に等級をつけ、地域ごとに順位づけている。資産額でなく、一定額以上の所得者を「資産家」と呼ぶのは抵抗があるが、一応、その意味を念頭に置いてみていこう。

柏原銀行の営業地域で定期預金をした者は 135 人いたが、資産家リストに記載されていたのは 17 人である。定期預金者だけでなく、範囲を広げて当座・小口当座・別段の預金者、

借入者まで含めて、いわば金融取引がある者を資産家リストで照合すると、第 21 表に掲げた 83 人が「資産家」に該当する。

別な角度からいえば、各地域の「資産家」で柏原銀行に金融取引があるのは誰か、幾人いるのかを示すことになる。

他方、その地域の資産家達の中で、同行に金融関係があったのは誰であり、幾人いたのかが浮かび上がる。

具体的見れば、柏原村では所得区分 17 ないし 25 に 47 人の資産家がいたが、山本亀三郎以下 36 人が 17 ないし 25 に名を連ねている。区分 17 は年所得 2,000 円ないし 2,500 円で、山本のみ、18 は同 1,500 ないし 2,000 円未満であり、松浦久雄、山根佐太郎、山崎周一、宮部市弥の 4 人が該当する。最下層の区分 25 は 400 ないし 500 円未満で 14 人がいる。

柏原村にいた 47 人の資産家のうち、定期預金者は松浦久雄、山根佐太郎、牧野久治郎、宮川房治郎、加藤松次郎、松浦新太郎、山本常吉、松浦千代松の 8 人を数え、小口当座、当座の口座を持つ、あるいは借入れをするなど、金融取引がある者を探すと 28 人いる。同村の資産家のうち 36 人、8 割弱の者が同行とかかわりを持っているわけで、別言すれば同行は柏原の資産家層の多くを営業基盤に取り込んでいるといえようか。ちなみに柏原銀行の役員・大株主である山根佐太郎、牧野久治郎、宮川房治郎、加藤松次郎、松浦千代松、松浦新太郎、松浦久雄はすべて柏原村の資産家上位に名を連ねている。同村の有力資産家たちが柏原銀行を創立し、金融関係をもったのである。

東黒田村では、資産家 54 人がいるが、定期預金者は堀江祖一、堀江九郎平、常喜栄太郎の 3 人だけ、金融取引がある者は 13 人であった。この 3 人はいずれも大口預金者であるが、同村の資産家のうちでも上位を占める有力者たちである。

大原村では、資産家 41 人のうち定期預金者はおらず、金融取引があるものでも 10 人にすぎない。春照村では、資産家 21 人のうち日比慶次郎、柴栄永吉の 2 人が定期預金者であるが、金融取引がある者の一人だけ、醒ヶ井村では資産家 38 人のうち定期預金者は江龍清城ただ一人、金融取引がある者で 10 人を数える。今須村では資産家 17 人のうち、定期預金者は山崎多平ただ一人、金融取引のある者は皆無、息長村では資産家 47 人のうち、吉居又左衛門ただ一人が定期預金者で、金融取引がある者は皆無である。入江村では 125 人のうち、定期預金者はなく、金融取引がある者は 4 人にすぎない。

柏原銀行の営業区域のそれぞれの村に「資産家」はかなり多数がいるが、定期預金をしているのは極めてわずかである。定期預金に限定せず、小口当座預金、当座預金を持つと

第 21 表 滋賀県資産家一覧表に記載された者（明治 43 年の所得）

地域		資産家名	等級	金融取引		
坂田郡	柏原村	山本亀三郎	17			貸付
		松浦久雄	18	定期	小口	貸付
		山根佐太郎	18	定期	小口	
		山崎周一	18		小口	貸付
		宮部市弥	18		小口	貸付
		牧野久治郎	21	定期	小口	貸付
		宮川房次郎	21	定期	小口	当座
		山根慎吾	22		小口	貸付
		加藤松次郎	23	定期	小口	貸付
		山口助作	23		小口	
		高木弥一	23		小口	貸付
		西村秋差	23		小口	当座
		松浦新太郎	24	定期	小口	当座
		山本常吉	24	定期	小口	
		松浦左京	24		小口	当座
		三輪卯三郎	24		小口	当座
		岩佐愛喜知	24		小口	
		宮田俊二	24		小口	
		三輪 廉	24		小口	貸付
		山根左小兵衛	24		小口	貸付
		奥田喜三郎	24		小口	
		畑中太吉	24		小口	
		松浦千代松	25	定期	小口	当座
		山沢寛一	25		小口	貸付
		川村寅吉	25		小口	
		山本善弥	25		小口	
		野村久弥	25		小口	
		大石善次	25		小口	
		北沢彦松	25		小口	貸付
		池田由太郎	25		小口	
		西村五郎作	25		小口	当座
		山根定市	25		小口	
		渋谷又治郎	25		小口	貸付
		小路庄三郎	25		小口	
		山根留蔵	25		小口	
		36人	山口半六	25		当座
	東黒田村	堀江祖一	15	定期	小口	貸付
		堀江九郎平	17	定期	小口	貸付
		高畑友吉	18		小口	貸付
		古池猪三郎	18		小口	貸付
		吉田与吉	18		小口	貸付
		常喜栄太郎	20	定期	小口	
		堀江忠治郎	23		小口	貸付
		古池文太	23		小口	当座
		丸本忠治郎	25		小口	貸付
		百々春峰	25		小口	貸付
		吉田久吉	25		小口	
		鹿取徳太郎	25		小口	貸付
		堀江茂一郎	25		小口	
		広瀬了明	25		小口	
		川幡嘉次郎	25		小口	貸付
		16人	箕浦伊右衛門	25		

大原村	森藤左工門	22		小口		貸付
	森為弥	23		小口		
	宮部宗内	24		小口		
	田中幾太郎	24		小口		貸付
	野一色権次郎	24		小口		
	野一色元倫	25		小口		
	野一色与惣次郎	25		小口		
	田中善六	25		小口		
	田中惣吉	25		小口		
	澤頭順吉	25		小口		
10人						
春照村	日比慶次郎	24	定期	小口		
	小島又市	24		小口		
	柴栄永吉	25	定期	小口		貸付
3人						
醒ヶ井村	川部弥治郎	18		小口	当座	
	力石藤吉	19		小口		貸付
	前川弥五八	22		小口		貸付
	和田猪左衛門	22		小口		貸付
	江龍 潜	23		小口	当座	
	中村弥三八	23		小口		
	江龍清城	25	定期	小口		貸付
	垣見甚吾	25		小口		
	青山伊蔵	25		小口		
	江龍喜代治	25		小口		貸付
	垣見文平	25		小口		
11人						
息長村	吉居又右衛門	18	定期	小口		
入江村	宮川利八	15		小口		
	樋口十三郎	22		小口		
	樋口彦平	24		小口	当座	
	西村新之助	25		小口		貸付
4人						
犬上郡	彦根町	北川九郎平	17	定期		
岐阜県 不破郡	荒崎村	岡崎 安	16	定期		当座
	今須村	山崎多平	23	定期		

(備考) 「滋賀県資産家一覧表」(渋谷隆一編『都道府県別資産化地主総覧
滋賀編・和歌山編』所収)を基礎とし、金融取引の有無を加えて作成。
所得金額区分

15	3000円	21	800
16	2500	22	700
17	2000	23	600
18	1500	24	500
19	1000	25	400
20	900		

か借入をするなど、金融取引のある者まで広げても少数である。そのなかで柏原村だけは特別で、「資産家」のほとんどが同行に関係を持っていたことが注目される。

(C) 大口預金者

ところで定期預金者で大口といえる人々は誰であり、どの程度の金額なのかを把握するのは意外に難しい。単に預金額の大きさだけでなく、解約までの期間を織り込んで、その定期が銀行にもたらした資金の大きさを測定する必要がある。(預金額×滞留日数)で計算

された積数こそ、実態を表す手段となる。複数件の定期を持つ場合はそれぞれの積数を合算してこそ、定期に提供した資金の全量をみることになる。

第22表は定期預金者135人について各自が預けた定期預金の資金量(積数)を列挙したものである。たとえば東黒田村長岡で農商兼営の堀江九郎平は、8件の定期を持ち、積数5,838,000円であるが、それは16,000円を定期預金として1年間預けたことに相当し、別言すれば1,000円を16年間預けたといってもよい。第2位の滋賀県農工銀行は積数5,202,000円であるが、11,000円を3か月定期で3回更新継続し、かつ別口で3か月15,000

第22表 定期預金者の積数各人別

					(金額単位：円)	
預金者	職業	住 所	件数	積 数		
1 堀江九郎平	農・商	坂田郡東黒田村大字長岡	8	5,838,000		
2 滋賀県農工銀行	銀行	近江国大津	5	5,202,000		
3 常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	20	4,069,120		
4 北川九郎平	商	犬上郡彦根町上川原	4	3,168,507		
5 堀江粗一	農	坂田郡東黒田村大字万願寺	2	2,994,500		
6 勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	17	2,337,663		
7 日枝神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	14	1,883,561		
8 牧野とみ	農	坂田郡柏原村大字柏原	16	1,531,968		
9 松浦久雄	農	坂田郡柏原村大字柏原	29	1,310,888		
10 加茂神社氏子総代堀江粗一	神社	坂田郡東黒田村大字万願寺	6	1,292,207		
11 村長西川瀬太郎	雑	坂田郡柏原村大字柏原	5	1,259,613		
12 津島神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	13	1,251,713		
13 安藤泰市	商	美濃国安八郡大垣町	7	1,207,360		
14 牧野文治親権者牧野つ祢	農	坂田郡柏原村大字柏原	3	1,158,000		
15 牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	32	1,156,660		
16 牧野久治郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	3	972,000		
17 日比慶治郎	農・教員	坂田郡春照村大字村木	7	902,452		
18 大字柏原外三六字積立金管理者収入役川村広三郎	雑	坂田郡柏原村大字柏原	3	699,335		
19 堀江とみ	農	坂田郡東黒田村大字長岡	6	559,133		
20 古池文太	農	坂田郡東黒田村大字長岡	1	466,400		
21 松浦良平	農	坂田郡柏原村大字柏原	13	449,750		
22 北村国五郎	農	坂田郡大原村大字岩ヶ谷	4	408,872		
23 山崎多平	農・商	美濃国不破郡今須村大字今須	1	401,500		
24 成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	8	382,847		
25 加藤松次郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	2	381,400		
26 守田直八	商	坂田郡柏原村大字柏原	4	340,226		
27 宮川津祢	農	坂田郡春照村大字大清水	5	317,609		
28 石田庄三郎外1人	農	坂田郡柏原村大字梓河内	2	317,031		
29 江龍清城	農	坂田郡醒ヶ井村大字醒ヶ井	3	312,900		
30 堀江すて	農	坂田郡柏原村大字柏原	14	307,410		
31 土田孝治郎	農	坂田郡東黒田村大字長岡	1	294,000		
32 岡崎安	農	美濃国不破郡荒崎村字16	1	258,000		
33 西川みよ	農	犬上郡福満村大字西今	3	254,010		
34 小谷前長沢前村中	雑	坂田郡柏原村大字柏原	4	249,915		
35 長久寺清滝梓河内積立金管理者収入役	雑	坂田郡柏原村大字柏原	2	243,114		
36 宮川志津	農	坂田郡柏原村大字柏原	6	243,097		
37 保知のえ	農	坂田郡柏原村大字柏原	2	224,228		
38 吉西寺講肝煎森喜十郎	講	坂田郡大原村大字朝日	1	195,078		
積数186,00円以上計			277	44,842,066		
総 計			466	50,318,498		

[備考] 柏原銀行「定期預金記入帳」より計算の上作成。

円があったわけで、合算すると 14,252 円を 1 年間預けたことに相当し、別言すれば 1,000 円を 14 年強預けたともいえる。第 3 位の東黒田村堂谷の医者常喜栄太郎は、金額まちまちの 1 年定期を 20 件も持ち、その合算で積数が 4,069,120 円になっている。それは 11,148 円を 1 年間預けたことに相当し、1,000 円を 11 年強預けたと言い換えることもできる。これらはまさに超大口の定期預金者といえよう。積数で 3,650,000 円以上(10,000 円を 1 年預けたことに相当)の者はすでに例示した堀江九郎平、滋賀県農工銀行、常喜栄太郎の 3 人であるが、積数 1,460,000 円以上(4,000 円を 1 年)が 5 人、積数 730,000 円以上(2,000 円を 1 年)が 9 人、積数 365,000 円以上(1,000 円を 1 年)が 8 人であった。1,000 円以上を 1 年間預けるといえば、当時としては大金であって、これら 25 人は大口定期預金者といってよからう。

大口定期預金者には個人が 17 人いるが、多くは「資産家」であり(11 人)、職業としては「農」が 12 人と多く、「商」が 3 人、「医」「教員」各 1 人という内訳である。そして個人以外に、滋賀県農工銀行をはじめ、日枝神社、津嶋神社、加茂神社、勝専寺、成菩提院などの寺社、柏原村長や柏原外 3 大字積立金などの公金までが大口定期預金者であることに興味をひかれる。

逆に少額預金者というべきものも多数いることにも触れておかねばなるまい。積数が 182,500 円以上(500 円を 1 年)が 15 人、73,000 円以上(200 円を 1 年)が 35 人、36,500 円以上(100 円を 1 年)が 17 人、18,250 円以上(50 円を 1 年)23 人、3650 円以上(10 円を 1 年)17 人、それ以下 3 人という具合で、10 円を 1 年預ける程度ではまさに零細預金と言わざるを得ず、それらが 20 人もいることを付言しておきたい。

- (1) 滋賀県農工銀行の定期預金は明治 42 年末で 17 万円であり、その中に柏原銀行への定期 2.6 万円が含まれている(『滋賀県統計全書』[明治 44 年]の「第 720 表農工銀行の預け金」による)。農銀は複数銀行へ定期を分散していたわけである。仮に余裕金の運用としても、なぜ預金先として柏原銀行が選ばれたのか疑問が残る。当時の滋賀県農工銀行頭取は伊夫伎資弼で、その長男直一の妻もよが山根佐太郎の娘という姻戚関係があった。したがってその線から、柏原銀行に親近感を抱いていたのかもしれない。
- (2) 個人の職業は、「定期預金記入帳」に記載されたままとしたが、多少の疑問もある。同一人で複数件あって、時には「農」、時には「商」と表示され、職業記載が一定していない者がいる。おそらく実態は農地を持ち、農業を営む傍ら、商売もやっているということであろうが、記載時にどちらか一方に着目した結果と思われる。本稿ではやむを得ずそれらを「農商」と分類したが、「農」や「商」に分類されている者の中にもよく調べれば兼業であって、「農商」とすべき者がいるかもしれない。「教員」にも「農」と兼業の者もいる。

- (3) 「定期預金記入帳」では安藤泰一の住所が最初は柏原村畑中太吉方、次いで岐阜県安八郡大垣町となっている。柏原での商売のためか畑中太吉方に在留していたのであろうが、おそらく大垣の人なのであろう。ここでは大垣在住者が定期預金をしていたと推定しておく。安藤の職業記載も「雑」、「農」、「商」と時により異なっている。
- (4) 継続性の判定は、(a)Aの定期の支払日とBの定期の設定日が一致しており、(b)Aの支払額とBの預金額とが同一か、利息が元加されていることの2条件による。Cの定期がBの定期と同様な関係にあれば、A、B、Cは同一資金が期日に次々と契約更新され、連続していると把握するわけである。同一人が持つ定期の中から、2条件に合致するものを探し出し連結してみて、最初の設定日から解約日までの期間を実質的な意味で滞留期間とみなす。判定にあたり(a)は絶対条件であるが、(b)では継続にあたり、元本を増額したり、一部解約で減少しても、資金の連続性が推測できればよいと判定している
- (5) 北川九郎平には、明治43年9月30日設定の3,500円の定期を半年契約で1回更新しているが(解約日は44年9月30日)、44年10月14日設定の3,674円の定期とは実質的には連続しているのかもしれない。解約日と設定日は15日の開きがあるので、別扱いとしたが、いったん解約してから数日後に利息を元加して定期としたとみることができるからである。連続しているとみなせば、当初3,500円の定期は9回更新継続し、1,815日約5年間滞留したことになる。

5. むすび

本稿では、柏原銀行の各種預金について、預金者、預金の内容、形成のされ方などの説明を目指したが、定期預金については「定期預金記入帳」のデータに依存してほぼ実態を把握することができたといえよう。すでに考察済みの八幡銀行や百三十三銀行の定期預金との対比が可能となったわけである。ところが当座預金、小口当座預金、別段預金などについては、それぞれの依存した預金元帳に預金者の職業、住所などの記載がなく、定期預金と同様な考察まではできなかつた。より考察を深めるには、預金者の身元を知りうる別途の資料が必要であろうが、目下のところその手がかりもなく、結局、計数的考察に止まらざるを得なかつた。

預金構成上最大の比重を持つ小口当座預金の分析では、預金者数が多く、比較的少額の預金額であるため、特徴を引き出すのは容易でなく、定期預金の分析とは異なつた視点、方法を探らねばなるまい。「小口当座預金元帳」に依存して八幡銀行や百三十三銀行で小口当座の分析をするには、柏原銀行より格段に多い預金者数を抱え、少額預金の累積と想像されるから、有効な分析方法を必要としよう。

最後に、当座預金形成についての疑問に触れておこう。すでにみたように柏原銀行の期末当座預金残高は常にゼロであり、当座貸越残高が多額にみられる。同行では殆どの場合、

当座預金開設と同時に当座貸越を起し、その返済、追加貸越を繰り返し、期末に当座貸越が残るからである。

前に考察した八幡銀行の当座預金でも当座貸越が先行している例がないことはないが、柏原銀行ではそれが当たり前となっていることに異常さを見出す。

おそらく滋賀県の中小銀行でも期末に当座貸越があるにせよ、当座預金がゼロという事例は皆無であろう。

通常は、当座預金は取引の受払の場として機能し、若干の資金の滞留が当座預金残高となり、決済資金の不足など一時的な資金需要に対処するために当座貸越が使われるはずであろう。同行では当座貸越が当座開設と同時に起き、貸付金と並ぶ貸出の手段となっている。

同行の当座預金では、残高がない以上、預金者、預金の内容は問題とならず、当座貸越が常態化しているから、当座貸越者、貸越の内容を考察することになる。

本稿の預金分析では、規模の小さい柏原銀行だからこそ、全預金の内容を銀行帳簿から把握できたともいえるが、この考察を踏まえ、地方的大銀行である八幡銀行、百三十三銀行の預金分析も残存している銀行帳簿によって実現したいものである。

「付記」

本稿が依拠した柏原銀行の諸帳簿は滋賀大学経済学部附属史料館に所蔵され、その利用には宇佐美英機館長、堀井靖枝、南田孝子両氏に大変お世話になった。また、探し求めていた営業報告書等の閲覧複写等では滋賀銀行人事部次長山崎敦氏にお世話になった。地元柏原地区の事情、登場人物の身元などについて郷土史家の谷村潤一郎、山本孝雄両氏にご教示いただいた。いずれにも厚くお礼を申し上げる。

付表 定期預金者一覽

預金日	預金者	職業	住 所	期限	支払期日	利率	金額	支払日	利息	滞留日数
34. 7. 9	山根信治	無	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 7. 9	1分5厘	15	35. 7. 9	1	365
34. 7. 12	勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 7. 12	1分5厘	130	35. 7. 12	10	365
34. 7. 22	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 7. 22	1分5厘	150	35. 7. 12	11	355
34. 7. 22	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 7. 22	1分5厘	150	35. 7. 23	11	366
34. 7. 23	山根 澄	雑	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 7. 22	1分5厘	20	35. 12. 28	2	523
34. 8. 2	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 8. 7	1分5厘	200	35. 8. 9	15	366
34. 10. 2	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1年弱	35. 9. 1	1分5厘	100	35. 12. 1	8	425
34. 12. 9	長久寺清滝祥河内積立金管理者収入役	雑	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 12. 2	1分5厘	597	35. 12. 8	45	364
34. 12. 24	勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 12. 23	1分5厘	73	35. 12. 23	8	364
34. 12. 28	勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	35. 12. 27	1分5厘	947	35. 12. 27	91	364
35. 1. 6	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 1. 6	1分5厘	200	36. 1. 6	15	365
35. 1. 11	牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 1. 11	1分5厘	150	36. 1. 12	11	366
35. 1. 19	牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 1. 13	1分5厘	50	36. 1. 13	4	359
35. 2. 8	牧野とみ	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 2. 8	1分5厘	471	36. 2. 9	35	669
35. 3. 27	谷田寅吉	農	坂田郡柏原村大字須川	1ヶ月	36. 12. 25	1分5厘	40	36. 12. 8	2	621
35. 3. 28	小路政太郎、石川元吉	農	坂田郡柏原村大字大野木	1ヶ月	36. 3. 27	1分5厘	50	36. 4. 2	4	370
35. 4. 4	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字須川	1ヶ月	36. 1. 14	1分5厘	100	36. 1. 14	8	285
35. 4. 4	牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 4. 4	1分5厘	50	36. 4. 6	4	367
35. 4. 11	谷口た津え	農	坂田郡柏原村大字須川	1ヶ月	36. 4. 11	1分5厘	33	36. 3. 22	2	345
35. 4. 15	山根とよ	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 4. 18	1分5厘	80	36. 4. 15	6	365
35. 5. 7	谷口た津え	農	坂田郡柏原村大字須川	1ヶ月	36. 5. 7	1分5厘	7	36. 3. 22	0	319
35. 5. 8	川村うえ	商	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 5. 8	1分5厘	70	36. 5. 8	50	365
35. 5. 28	日枝神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 5. 28	1分5厘	430	36. 5. 28	32	365
35. 6. 18	日枝神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 6. 18	1分5厘	215	36. 6. 18	16	365
35. 7. 9	山根信治	無	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 7. 9	1分5厘	30	36. 7. 9	2	365
35. 7. 14	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 7. 14	1分5厘	150	36. 7. 14	11	365
35. 7. 23	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 7. 23	1分5厘	350	36. 7. 23	25	365
35. 8. 9	津嶋神社	神社	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 8. 9	1分5厘	200	36. 8. 7	14	363
35. 9. 5	松浦良平	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 9. 5	1分5厘	100	36. 9. 5	7	365
35. 10. 1	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 10. 1	年7分	108	36. 10. 1	8	365
35. 10. 3	井場市兵衛	農	坂田郡大原村大字池下	1ヶ月	36. 10. 3	年7分	40	36. 3. 7	1	155
35. 10. 22	柳野宋之丞	農	坂田郡大原村大字朝日	半年以上	36. 4. 22	年6分	50	36. 4. 22	2	182
35. 11. 1	守田直八	商	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 11. 1	年6分	212	36. 11. 1	13	365
35. 11. 1	守田さだ	商	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 11. 1	年6分	25	36. 11. 5	2	369
35. 11. 6	松浦久雄	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 11. 6	年6分	100	36. 11. 6	6	365
35. 12. 3	大字柏原外三立積立金管理者収入役川村広三郎	雑	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 12. 3	6分2厘	642	36. 12. 3	40	365
35. 12. 13	山根繁蔵	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 12. 13	6分5厘	50	36. 12. 14	3	366
35. 12. 27	勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 12. 28	6分2厘	236	36. 12. 25	15	363
36. 1. 5	勝専寺	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	36. 7. 12	1分5厘	140	36. 7. 12	10	193
36. 1. 6	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	半年以上	36. 7. 12	6分2厘	49	36. 7. 12	2	188
36. 1. 13	山根 澄	雑	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	37. 1. 6	6分2厘	215	37. 1. 6	13	365
36. 1. 14	成菩提院	寺	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	37. 1. 13	6分2厘	40	37. 1. 13	2	365
36. 2. 9	牧野とみ	農	坂田郡柏原村大字柏原	1ヶ月	37. 2. 9	6分2厘	179	37. 3. 19	12	404

[金額単位：円]

36. 2. 18	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	36.	8.	18	5分8厘	33	36.	8.	18	1	181
36. 2. 18	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	36.	8.	18	5分8厘	30	36.	8.	18	1	181
36. 4. 1	小路政太郎、石川元吉		農	坂田郡柏原村大字大野木	1々年	37.	4.	1	16分	50	37.	4.	1	3	366
36. 4. 4	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	4.	4	6分	60	37.	4.	4	4	366
36. 4. 22	柳野宗之丞		農	坂田郡大原村大字朝日	1々年	36.	10.	22	5分8厘	20	36.	10.	22	1	183
36. 5. 28	日枝神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	5.	28	6分	462	37.	5.	28	28	366
36. 6. 3	山根 基		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	6.	3	6分	20	37.	6.	3	1	366
36. 7. 9	山根信治		無	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	7.	9	6分	231	37.	7.	9	14	366
36. 7. 12	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	7.	12	6分	42	37.	7.	12	3	364
36. 7. 20	津嶋神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	7.	20	6分	199	37.	7.	20	12	366
36. 8. 9	津嶋神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	8.	9	6分	536	37.	8.	9	32	366
36. 8. 18	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	37.	2.	16	5分8厘	214	37.	8.	9	13	366
36. 8. 19	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	37.	2.	16	5分8厘	49	37.	2.	16	1	182
36. 9. 5	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	9.	5	6分	31	37.	2.	16	1	181
36. 9. 5	吉田 尙		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	9.	5	6分	100	37.	9.	5	6	366
36. 10. 1	成菩提院		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	10.	1	5分5厘	27	38.	4.	17	2	590
36. 10. 12	西村令三		教員	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	10.	12	11	115	37.	10.	1	6	366
36. 11. 1	守田直八		商	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	11.	1	5分5厘	225	37.	11.	1	12	366
36. 12. 7	西村令三		教員	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	12.	7	5分5厘	50	37.	12.	7	3	366
36. 12. 26	宗舜寺		寺	坂田郡柏原村大字須川	1々年	37.	12.	26	5分5厘	80	37.	12.	26	4	366
36. 12. 28	山根七兵衛		農	美濃郡不破郡字須村字小谷	1々年	37.	12.	28	5分5厘	300	37.	12.	29	17	367
36. 12. 28	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	12.	28	5分5厘	250	37.	12.	28	14	366
36. 12. 29	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	37.	12.	27	5分5厘	65	37.	12.	29	4	366
37. 1. 13	山根 基		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	1.	13	5分5厘	57	38.	1.	16	3	369
37. 1. 20	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	1.	20	5分5厘	100	38.	1.	20	6	366
37. 2. 6	大字柏原外三 大字積立金管理 者収入役川村広三郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	2.	3	5分5厘	681	38.	2.	3	37	363
37. 2. 16	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	37.	8.	16	5分2厘	50	37.	8.	16	1	182
37. 2. 16	山根ちえ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	37.	8.	16	5分2厘	32	37.	8.	16	1	182
37. 3. 19	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	3.	17	6分2厘	157	38.	3.	19	10	365
37. 3. 26	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	3.	26	6分2厘	58	38.	3.	30	4	369
37. 3. 28	西村與惣五郎		農	坂田郡春照村大字村木	1々年	38.	3.	25	6分5厘	100	37.	9.	20	3	176
37. 4. 4	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	4.	4	6分5厘	60	38.	4.	4	4	365
37. 4. 5	小路政太郎、石川元吉		農	坂田郡柏原村大字大野木	1々年	38.	4.	1	16分	50	38.	6.	9	3	430
37. 5. 28	日枝神社代 松浦佐京		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	5.	28	6分	490	38.	5.	28	27	365
37. 6. 18	日枝神社代 松浦佐京		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	6.	18	6分	245	38.	6.	18	15	365
37. 7. 28	野村利吉		教員	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	1.	27	6分	100	38.	1.	27	3	183
37. 8. 20	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	8.	20	6分	211	38.	12.	26	19	493
37. 8. 23	藤田 善平		農	坂田郡大原村大字下馬	1々年	38.	8.	23	6分	60	38.	8.	23	4	365
37. 8. 25	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	38.	2.	25	6分	150	38.	2.	25	5	184
37. 9. 5	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	9.	5	6分	100	38.	9.	5	6	365
37. 9. 5	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	9.	5	6分	50	38.	9.	5	6	378
37. 9. 12	牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	38.	3.	12	7分3厘	2,000	38.	3.	12	73	181
37. 10. 18	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	10.	18	6分	100	38.	10.	18	6	364
37. 11. 1	守田直八		商	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	11.	1	6分	237	38.	11.	9	14	373
37. 11. 24	成菩提院		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	10.	1	6分	121	38.	10.	18	8	328
37. 12. 12	津島神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1々年	38.	7.	20	6分	568	38.	7.	20	34	220

37.	12.	12	津島神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年38.	8.	9	6分	227	38.	8.	9	14	240
37.	12.	28	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	17年38.	7.	12	6分	332	38.	12.	26	20	363
38.	1.	16	山根 証		医	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	1.	16	6分	83	39.	1.	16	5	365
38.	1.	27	野村惣治郎、野村利吉		教員	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	1.	27	6分5厘	300	39.	1.	29	20	367
38.	2.	3	大字齋禰金管理者収入役山沢寛一		雑	坂田郡柏原村大字柏原	17年38.	12.	3	6分	719	38.	12.	3	43	303
38.	2.	15	日比慶治郎[愛次郎]		教員	坂田郡春照村大字村木	17年39.	2.	15	6分	100	38.	4.	30	1	74
38.	2.	25	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年38.	8.	25	6分2厘	150	38.	8.	25	5	181
38.	3.	13	牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年38.	8.	13	8分3厘95	2,000	38.	7.	13	85	122
38.	3.	19	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年38.	3.	19	6分5厘	167	39.	3.	13	11	365
38.	4.	4	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年37.	4.	4	6分5厘	60	39.	4.	4	4	365
38.	5.	2	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	5.	2	6分5厘	100	39.	5.	5	7	368
38.	5.	28	日枝神社担当人松浦佐京		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	5.	28	6分5厘	519	39.	5.	28	34	365
38.	5.	29	津島神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	5.	29	6分5厘	300	39.	4.	26	15	332
38.	5.	30	堀江すて		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	5.	30	6分5厘	46	39.	5.	30	3	365
38.	6.	1	岩崎きやう		農	坂田郡柏原村大字梓河内	17年37.	6.	2	6分5厘	40	39.	3.	12	2	284
38.	6.	9	小路政太郎一人		農	坂田郡柏原村大字大野木	17年39.	6.	9	6分5厘	50	39.	7.	2	3	388
38.	6.	18	日枝神社担当人松浦佐京		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	6.	18	6分5厘	350	39.	6.	18	23	365
38.	6.	21	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年37.	6.	21	6分5厘	42	39.	6.	21	3	365
38.	8.	23	藤田嘉平		農	坂田郡大原村大字夫馬	17年39.	8.	23	6分5厘	60	39.	8.	23	4	365
38.	8.	25	北村国五郎		農	坂田郡大原村大字岩ヶ谷	17年39.	8.	25	6分5厘	350	39.	8.	28	23	368
38.	8.	27	上村寛三郎外3人		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	8.	27	6分5厘	35	39.	9.	25	2	394
38.	8.	28	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	8.	28	6分5厘	250	39.	8.	25	16	362
38.	9.	2	柏原村大字柏原字小谷前世話方木村節吉		商	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	9.	2	6分5厘	120	39.	9.	2	8	365
38.	9.	5	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	9.	5	6分5厘	100	39.	1.	19	2	136
38.	9.	6	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年37.	9.	6	分5厘	50	39.	9.	10	3	369
38.	9.	13	牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年39.	3.	13	7分6厘6毛	2,000	39.	3.	15	77	183
38.	9.	18	津島神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	7.	20	6分5厘	602	39.	7.	20	39	305
38.	9.	18	津島神社		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	8.	8	6分5厘	241	39.	8.	7	16	323
38.	9.	18	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	9.	18	6分5厘	70	39.	9.	18	5	365
38.	10.	18	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	10.	18	6分5厘	100	39.	1.	19	1	92
38.	10.	26	谷口勝三郎		農	坂田郡柏原村大字須川	17年39.	10.	26	6分5厘	47	39.	11.	7	3	376
38.	11.	6	守田直八		商	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	11.	1	6分5厘	251	39.	11.	8	17	367
38.	12.	15	柴江丹六		農	坂田郡春照村大字村木	17年39.	12.	15	6分5厘	100	39.	2.	19	1	66
38.	12.	27	勝尊寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	17年39.	12.	27	6分5厘	582	39.	12.	27	38	365
38.	12.	30	長久寺清滝梓河内齋積金管理人収入役山沢寛一		雑	坂田郡柏原村大字梓河内	17年39.	12.	30	6分5厘	762	39.	2.	2	7	34
39.	1.	16	山根 澄		雑	坂田郡柏原村大字村木	17年40.	1.	16	6分5厘	104	40.	1.	16	7	365
39.	1.	27	宮川卯之助		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40.	1.	27	6分5厘	200	40.	1.	29	13	367
39.	1.	4	山本吉く		農	美濃国不破郡号須村	17年40.	1.	4	6分5厘	45	40.	1.	4	3	365
39.	1.	5	藤田多三郎		農	坂田郡春照村大字村木	17年39.	12.	25	6分5厘	23	39.	12.	25	1	354
39.	2.	3	堀江相一		農	坂田郡黒田村大字葛藤時	17年40.	2.	3	7分	1,500	40.	2.	4	105	366
39.	3.	19	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40.	3.	19	6分5厘	178	40.	3.	17	12	363
39.	4.	4	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40.	4.	4	6分5厘	60	40.	4.	4	4	365
39.	4.	11	宮川恣津		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年39.	10.	11	6分5厘	170	39.	11.	13	6	216
39.	4.	12	谷田寛吉		農	坂田郡柏原村大字須川	9ヶ月39.	12.	20	6分5厘	40	39.	12.	21	2	253
39.	4.	16	富田勇太郎		農	坂田郡春照村大字村木	17年40.	4.	16	6分5厘	100	40.	4.	16	7	365
39.	5.	2	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40.	5.	2	6分	100	40.	5.	2	6	365
39.	5.	3	森金四郎		農	坂田郡黒田村大字長岡	半7年39.	11.	3	6分5厘	50	39.	11.	22	2	203

39. 5. 28	日枝神社担当人牧野久治郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 5. 28	6分2厘	553	40. 5. 28	34	365
39. 5. 30	堀江すて		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 5. 30	6分2厘	49	40. 5. 30	3	565
39. 6. 18	日枝神社担当人牧野久治郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 6. 18	6分2厘	373	40. 6. 18	23	365
39. 6. 21	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 6. 21	6分2厘	52	40. 6. 25	3	369
39. 6. 25	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 6. 25	6分	200	40. 6. 25	12	365
39. 8. 11	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 8. 11	6分	150	40. 8. 12	9	366
39. 8. 18	堀江九郎平		農	坂田郡黒田村大字長岡	17年40. 8. 18	6分3厘	2,000	40. 8. 18	63	365
39. 8. 23	藤田嘉平		農	坂田郡大原村大字下夫馬	17年40. 8. 23	6分	60	40. 8. 23	4	365
39. 8. 25	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 8. 25	6分	350	40. 8. 26	21	366
39. 8. 29	北村国五郎		農	坂田郡大原村大字岩ヶ谷	半7年40. 2. 29	6分	500	40. 2. 28	15	183
39. 8. 29	三和齋		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 8. 29	6分	100	40. 3. 21	3	204
39. 9. 3	江龍清城		農	坂田郡睡ヶ井村大字睡ヶ井	17年40. 9. 3	6分1厘	450	40. 7. 2	27	302
39. 9. 6	井場市兵衛		農	坂田郡大原村大字池下	17年40. 9. 7	6分	100	40. 9. 7	6	366
39. 9. 10	星居徳音		僧	坂田郡息長村大字寺倉	半7年40. 3. 10	6分	100	40. 3. 11	3	182
39. 9. 10	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 9. 10	6分	50	40. 7. 10	3	303
39. 9. 25	上村寛三郎外3人		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 9. 25	6分8厘	37	40. 9. 25	2	65
39. 10. 1	吉居利七		農	坂田郡息長村大字箕浦	17年40. 10. 1	6分	105	40. 12. 21	7	449
39. 10. 3	清水すて		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年40. 4. 3	6分8厘	600	40. 4. 5	17	184
39. 10. 4	井場市兵衛		農	坂田郡大原村大字池下	17年40. 10. 4	6分8厘	30	40. 10. 4	2	365
39. 10. 5	井場市兵衛		農	坂田郡大原村大字池下	17年40. 10. 5	6分8厘	30	40. 10. 5	2	365
39. 11. 1	谷比麿治郎		教員	坂田郡春照村大字村木	17年40. 11. 1	5分8厘	200	40. 11. 1	12	365
39. 11. 7	谷口勝三郎		農	坂田郡柏原村大字須川	17年40. 11. 7	5分8厘	50	40. 11. 7	3	365
39. 11. 8	守田甲治郎		商	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 11. 8	5分8厘	300	40. 11. 8	17	365
39. 11. 13	宮川志津		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年40. 5. 13	5分8厘	126	40. 5. 13	5	181
39. 12. 15	吉居又右工門		農	坂田郡息長村大字箕浦	17年40. 12. 15	6分	100	40. 12. 15	6	365
39. 12. 15	花屋世話方吉居又右工門		雑	坂田郡息長村大字箕浦	17年40. 12. 15	6分	50	40. 12. 15	12	365
39. 12. 19	小谷前長次前村中		雑	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 7. 2	5分8厘	120	40. 7. 2	17	195
39. 12. 25	畑中正男		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 12. 25	5分8厘	50	40. 12. 25	3	365
39. 12. 27	騰専寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	17年40. 12. 27	5分8厘	620	40. 12. 27	37	365
39. 12. 29	堀江とみ		農	坂田郡黒田村大字長岡	17年40. 12. 29	5分8厘	221	40. 12. 29	13	365
40. 1. 4	山本さく		農	美濃国不破郡今須村	17年41. 1. 4	5分8厘	68	41. 1. 4	4	365
40. 2. 8	林弥藤治		農	坂田郡春照村大字村木	17年41. 2. 8	5分8厘	75	41. 2. 14	4	371
40. 2. 9	三輪徳松		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年40. 8. 9	5分8厘	300	40. 2. 22	0	13
40. 2. 13	西村とみの		農	坂田郡春照村大字村木	17年41. 2. 12	5分8厘	15	41. 12. 31	2	687
40. 3. 7	北村国五郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年40. 8. 31	6分	515	40. 9. 12	15	189
40. 3. 7	宮川志津		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年40. 9. 7	5分8厘	80	41. 1. 7	4	306
40. 3. 8	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 3. 8	5分8厘	46	40. 10. 28	2	234
40. 3. 30	村長西川瀨太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	9ヶ月40. 12. 25	5分8厘	769	41. 6. 25	55	453
40. 3. 30	村長西川瀨太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	9ヶ月40. 12. 25	5分8厘	708	41. 6. 25	51	453
40. 4. 8	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 3. 20	6分	189	41. 4. 9	11	367
40. 4. 8	堀江すて担当人牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 4. 8	5分8厘	55	41. 4. 8	3	366
40. 4. 25	富田勇太郎		農	坂田郡春照村大字村木	17年41. 4. 16	5分8厘	100	41. 4. 17	6	358
40. 5. 2	柏原学校基本金管理者村長西川瀨太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 5. 2	5分8厘	100	41. 6. 30	7	425
40. 5. 2	柏原村基本金管理者村長西川瀨太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 5. 2	5分8厘	100	41. 6. 30	7	425
40. 5. 27	澤村すえ		農	坂田郡柏原村大字大野木	17年41. 5. 27	5分8厘	50	41. 8. 21	4	452
40. 5. 28	日枝神社担当人牧野久治郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 5. 28	5分9厘	560	41. 5. 28	33	366
40. 5. 30	堀江すて		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年41. 5. 30	5分9厘	52	41. 5. 30	3	366

40. 6. 18	日枝神社担当人牧野久治郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 6. 18	5分9厘	386	41. 6. 18	23	366
40. 6. 25	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 6. 25	5分9厘	200	41. 6. 25	12	366
40. 6. 25	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 6. 21	5分9厘	55	40. 10. 23	1	120
40. 7. 8	宮川志津		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 1. 8	5分8厘	111	41. 6. 23	6	351
40. 8. 12	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 8. 11	5分9厘	159	41. 8. 11	1	365
40. 8. 18	堀江九郎平		農	坂田郡東黒田村大字長岡	1/7年	41. 8. 18	6分3厘	2,000	41. 8. 18	126	366
40. 8. 23	藤田嘉平		農	坂田郡大原村字下天馬	1/7年	41. 8. 23	6分	60	41. 8. 25	4	368
40. 8. 29	柴栄志す		農	坂田郡春照村大字村木	半々年	41. 3. 2	5分8厘	15	41. 8. 29	1	366
40. 9. 2	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 3. 2	5分8厘	100	41. 3. 2	3	182
40. 9. 3	江龍清城		農	坂田郡慶ヶ井村大字慶ヶ井	1/7年	41. 7. 3	6分1厘	300	41. 4. 11	11	221
40. 9. 11	宮川吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 3. 11	6分	470	41. 3. 28	15	199
40. 9. 12	北村岡五郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 3. 28	6分	530	41. 3. 2	16	172
40. 9. 28	井場市兵衛		農	坂田郡大原村字池下	1/7年	41. 9. 28	5分8厘	50	41. 9. 28	3	366
40. 10. 2	井場市兵衛		農	坂田郡大原村字池下	1/7年	41. 9. 7	5分8厘	100	41. 9. 7	6	341
40. 10. 5	井場市兵衛		農	坂田郡大原村字池下	1/7年	41. 10. 5	5分8厘	60	41. 9. 5	3	336
40. 10. 5	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 9. 10	5分8厘	50	41. 9. 12	3	340
40. 10. 9	石田庄三郎外1人		農	坂田郡柏原村字河内	1/7年	41. 10. 9	5分9厘	167	44. 10. 9	35	1461
40. 10. 21	加藤松次郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 10. 21	5分8厘	900	41. 10. 21	52	366
40. 10. 23	牧野きね		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 10. 23	5分8厘	101	41. 10. 23	6	366
40. 11. 1	日比鷹治郎		教員	坂田郡春照村大字村木	1/7年	41. 11. 1	5分8厘	212	41. 11. 1	12	366
40. 11. 8	守田甲治郎		商	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 11. 8	5分8厘	300	41. 1. 18	3	71
40. 12. 21	吉居利七		農	坂田郡息長村大字黄浦	1/7年	41. 12. 21	6分	112	40. 12. 27	0	6
40. 12. 24	上村豊三郎外2人		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 9. 25	5分8厘	40	41. 9. 25	2	276
40. 12. 26	畑中正男		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 12. 25	5分8厘	50	41. 12. 25	3	367
40. 12. 29	堀江とみ		農	坂田郡東黒田村大字長岡	1/7年	41. 12. 29	6分	234	41. 12. 29	14	366
41. 1. 4	隣専寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 1. 4	5分8厘	657	42. 1. 4	38	366
41. 1. 4	隣専寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	41. 1. 4	5分8厘	200	42. 1. 4	12	366
41. 1. 4	林清吉		医	坂田郡春照村大字村木	1/7年	42. 1. 4	5分8厘	30	43. 2. 14	3	772
41. 2. 12	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	1/7年	42. 2. 12	6分	500	42. 2. 12	30	366
41. 2. 14	林弥藤治		農	坂田郡春照村大字村木	1/7年	42. 2. 14	5分8厘	80	42. 2. 14	5	366
41. 2. 15	畑中心さ		商	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 2. 15	5分8厘	50	44. 2. 14	8	1095
41. 3. 2	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 9. 2	5分8厘	150	41. 9. 2	4	184
41. 3. 15	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	1/7年	42. 1. 15	6分	430	42. 2. 12	28	334
41. 3. 16	松浦清助		農	坂田郡柏原村大字溝	1/7年	42. 3. 16	5分8厘	100	41. 4. 14	0	29
41. 3. 20	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 3. 20	6分	201	42. 3. 20	12	365
41. 4. 8	堀江すて担当人牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 4. 8	6分	58	42. 4. 8	3	365
41. 4. 11	江龍清城		農	坂田郡慶ヶ井村大字慶ヶ井	1/7年	42. 4. 11	6分1厘	300	42. 4. 15	18	369
41. 5. 4	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 5. 4	5分8厘	100	42. 5. 4	6	365
41. 5. 16	宮川志付		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 11. 16	6分	200	42. 6. 28	12	408
41. 5. 21	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	半々年	41. 11. 21	6分	100	41. 11. 20	3	183
41. 5. 28	日枝神社担当人川村広三郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 5. 28	5分9厘	593	41. 10. 10	12	126
41. 5. 30	堀江すて		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 5. 30	6分	55	42. 5. 30	3	365
41. 6. 18	日枝神社担当人川村広三郎		神社	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 6. 18	5分9厘	417	41. 10. 16	8	120
41. 6. 23	宮川志付		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 6. 23	5分8厘	117	42. 7. 3	7	375
41. 6. 25	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 6. 25	5分9厘	100	42. 6. 25	6	365
41. 6. 26	村長西川滿太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 6. 26	5分8厘	769	41. 8. 25	7	60
41. 6. 26	村長西川滿太郎		雑	坂田郡柏原村大字柏原	1/7年	42. 6. 26	5分8厘	708	42. 7. 8	41	377

42. 9. 4	柴江志ず		農	坂田郡春照村大字村木	17年43. 9. 4	15	43. 9. 4	1	365
42. 9. 7	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年43. 9. 3	800	43. 9. 3	46	361
42. 9. 10	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年43. 9. 1	200	43. 9. 10	12	365
42. 9. 14	柴栄末五郎		農	坂田郡春照村大字村木	半々年43. 3. 14	50	43. 3. 14	1	181
42. 9. 14	柴栄のぶ		農	坂田郡春照村大字村木	半々年43. 3. 14	10	43. 3. 14	0	181
42. 9. 16	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	100	43. 9. 16	6	365	365
42. 9. 18	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	100	43. 9. 22	6	369	369
42. 9. 27	高木まさ		農	坂田郡春照村大字村木	17年43. 9. 27	50	43. 9. 27	3	365
42. 10. 1	上村富三郎外2人		農	坂田郡春照村大字村木	17年43. 9. 25	20	43. 9. 25	1	359
42. 10. 7	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	27年43. 10. 7	100	43. 10. 7	6	365
42. 10. 7	森岡せつ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 10. 7	17	45. 10. 7	3	1096
42. 10. 20	澤すえ		農	坂田郡入江村大字朝妻	17年43. 8. 21	37	43. 8. 21	2	305
42. 10. 22	安藤藤市		雑	坂田郡柏原村畑中太吉方	37年43. 1. 23	1,400	43. 1. 23	21	93
42. 10. 25	牧野きね		農	坂田郡柏原村大字柏原	37年43. 10. 23	107	43. 10. 24	6	364
42. 11. 16	農工銀行		銀行	近江国大津	37年43. 2. 14	11,000	43. 2. 14	129	90
42. 11. 20	日比藤次郎		教員	坂田郡春照村大字村木	17年43. 11. 1	448	43. 11. 1	25	346
42. 11. 22	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年43. 11. 21	150	43. 11. 21	69	364
42. 12. 1	滋賀農工銀行		銀行	近江国大津	37年43. 3. 1	15,000	43. 2. 24	107	85
42. 12. 16	江龍清城 星徳普		雑	坂田郡息長村大字寺倉	17年43. 12. 16	160	43. 12. 16	9	365
42. 12. 24	加茂神社氏子総代堀江租一		神社	坂田郡東黒田村大字万願寺	17年43. 12. 24	995	44. 2. 1	52	410
42. 12. 24	万願寺代 丸木安市		寺	坂田郡東黒田村大字万願寺	17年43. 12. 24	718	43. 2. 4	1	48
42. 12. 27	松浦良平		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年43. 12. 26	100	43. 12. 26	5	364
42. 12. 29	堀江とみ		農	坂田郡東黒田村大字辰岡堀江	17年43. 12. 29	263	43. 12. 29	13	365
43. 1. 6	西村新吾		農	坂田郡春照村大字村木	17年44. 1. 6	5	44. 1. 16	0	365
43. 2. 14	農工銀行		銀行	近江国大津	37年43. 5. 15	11,000	43. 5. 14	119	89
43. 2. 15	小野安次郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年43. 2. 15	100	44. 2. 16	5	366
43. 2. 23	勝尊寺講幹事牧野久治郎		講	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 2. 23	23	44. 4. 18	1	419
43. 3. 1	上村津江		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 3. 1	20	44. 3. 1	1	365
43. 3. 9	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年44. 2. 12	1,000	44. 2. 12	52	340
43. 3. 5	松浦貞		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 5. 4	100	44. 5. 4	5	365
43. 5. 7	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 3. 20	225	44. 4. 18	11	346
43. 5. 7	堀江すて担任人牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 4. 8	65	44. 4. 18	3	346
43. 5. 7	勝尊寺講幹事牧野久治郎		講	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 3. 29	14	44. 4. 18	1	346
43. 5. 15	農工銀行		銀行	近江国大津	37年43. 8. 13	11,000	43. 8. 12	124	89
43. 5. 18	山根 基		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 5. 18	15	44. 5. 18	1	365
43. 5. 30	仁木太七		農	坂田郡柏原村大字柏原	97年44. 3. 10	122	43. 10. 30	3	153
43. 5. 30	宮川津弥		農	坂田郡春照村大字大清水	17年44. 5. 30	115	44. 5. 30	6	365
43. 5. 30	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 5. 14	100	44. 5. 18	5	353
43. 5. 31	堀江すて担任人牧野久治郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 5. 31	62	44. 5. 31	3	365
43. 6. 6	土田孝治郎		農	坂田郡東黒田村大字長岡	半々年43. 12. 6	1,000	44. 3. 27	35	294
43. 6. 22	牧野忠吉		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 6. 22	100	44. 6. 26	5	369
43. 6. 23	安藤藤一		雑	美濃国安八郡大垣町	半々年43. 12. 23	1,000	43. 12. 23	27	184
43. 6. 29	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 6. 25	100	44. 6. 25	5	361
43. 7. 4	宮川志祐		雑	坂田郡春照村大字大清水	17年44. 6. 25	85	44. 7. 22	4	383
43. 7. 4	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 7. 4	50	44. 7. 6	2	276
43. 7. 6	古池文太		農	坂田郡東黒田村大字長岡	半々年44. 1. 6	4,400	43. 10. 20	55	106
43. 7. 7	中川市次郎		農	坂田郡東黒田村大字	17年44. 7. 7	200	44. 7. 7	10	274

43. 7. 15	堀江租一		農	坂田郡東黒田村大字	17年44. 7. 15	5分	厘	6. 700	44. 7. 15	342	365
43. 7. 25	牧野とみ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 7. 25	5分		400	44. 7. 25	20	365
43. 7. 26	仁木幸三		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 7. 26	5分		100	44. 7. 28	5	367
43. 8. 1	堀江九郎平		商	坂田郡東黒田村大字長岡	17年44. 8. 1	5分	厘	2, 000	44. 8. 1	102	365
43. 8. 11	松本たけ後見人 肇止淨勲		雜	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 8. 11	4分	5厘	110	44. 8. 12	5	366
43. 8. 13	滋賀農工銀行頭取伊夫 伎資路		銀行	近江国大津	37年44. 8. 13	1銭	厘	11, 000	43. 11. 10	109	89
43. 8. 18	松井てい		農	美濃国不破郡今須村字下明谷	17年44. 8. 18	4分	5厘	400	44. 8. 18	18	365
43. 8. 20	西川みよ		農	大上郡埴瀬村大字西今	半7年44. 2. 20	4分	2厘	340	44. 2. 20	7	184
43. 8. 22	堀江九郎平		商	坂田郡東黒田村大字長岡	17年44. 8. 18	5分		2, 000	44. 8. 18	100	361
43. 8. 22	丸本安市		農	坂田郡東黒田村大字万願寺	17年44. 8. 22	4分	5厘	100	44. 8. 22	5	365
43. 8. 30	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 8. 11	4分	厘	189	44. 8. 11	8	346
43. 9. 2	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 2	4分	厘	150	44. 9. 6	7	177
43. 9. 2	蘆すえ		農	坂田郡入江村字朝妻	17年44. 8. 21	4分	5厘	39	44. 8. 21	2	253
43. 9. 5	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年44. 9. 2	4分	5厘	350	44. 10. 3	17	392
43. 9. 5	勝栄寺牧野久治郎		講	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 2	4分	5厘	12	44. 9. 2	0	362
43. 9. 6	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 6	4分	7厘	100	44. 9. 6	5	273
43. 9. 6	柴榮忠す		農	坂田郡春照村大字村木	17年44. 9. 4	4分	5厘	15	45. 4. 13	1	585
43. 9. 16	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 16	4分	5厘	100	44. 9. 16	5	273
43. 9. 19	柴榮永吉		農	坂田郡春照村大字村木	半7年44. 3. 19	4分	5厘	217	43. 10. 7	小口へ	18
43. 9. 22	松浦貞		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 18	4分	5厘	100	44. 9. 18	5	269
43. 9. 30	北川九郎平		商	大上郡埴瀬町字上川原	半7年44. 3. 30	4分	7厘	3, 500	44. 3. 30	82	181
43. 10. 7	西木常八		農	坂田郡春照村大字村木	半7年44. 4. 3	4分		30	44. 4. 4	1	179
43. 10. 8	高村百蔵		農	美濃国不破郡今須村	17年44. 10. 8	4分	3厘	100	44. 10. 8	4	365
43. 10. 10	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 10. 7	4分	3厘	150	44. 10. 7	6	362
43. 10. 26	松浦久雄		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 10. 26	4分	3厘	220	44. 10. 26	9	365
43. 11. 5	日比盛治郎		教員	坂田郡春照村大字村木	17年44. 5. 1	4分	3厘	473	45. 5. 1	31	543
43. 11. 21	牧野孫十郎		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 11. 21	4分	5厘	200	44. 11. 21	9	365
43. 12. 16	仁木太七		農	坂田郡柏原村大字柏原	97年44. 10. 30	4分	3厘	110	44. 10. 30	5	318
43. 12. 22	上村富三郎外2人		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 9. 25	4分	3厘	21	44. 9. 25	1	277
43. 12. 22	星居感音 江龍清城		雜	坂田郡豊長村大字寺倉	17年44. 1. 16	4分	5厘	170	44. 12. 16	8	359
43. 12. 23	安藤泰一		農	美濃国安八郡大垣町	半7年44. 6. 23	4分	6厘	1, 000	44. 6. 23	23	182
43. 12. 23	安藤泰一		農	美濃国安八郡大垣町	半7年44. 6. 23	4分	6厘	400	44. 6. 23	9	182
43. 12. 29	堀江とみ		農	坂田郡東黒田村大字長岡	17年44. 12. 29	4分	5厘	276	44. 12. 29	12	365
44. 1. 17	西樫つぎ		農	坂田郡東黒田村大字本郷	17年45. 1. 17	4分	3厘	50	45. 1. 22	2	370
44. 1. 20	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年45. 1. 20	4分	5厘	900	45. 2. 12	41	388
44. 1. 20	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年44. 9. 3	4分	5厘	800	44. 10. 3	38	255
44. 1. 20	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年44. 9. 10	4分	5厘	200	44. 10. 3	9	255
44. 2. 1	加茂神社氏子総代堀江租一		神社	坂田郡東黒田村大字長岡	半7年44. 6. 24	4分	5厘	1, 047	44. 6. 24	24	143
44. 2. 4	畑中いさ		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年45. 2. 14	4分	5厘	50	45. 2. 14	5	375
44. 2. 8	勝専寺		寺	坂田郡柏原村大字柏原	17年45. 2. 8	4分	5厘	700	45. 4. 11	36	428
44. 2. 20	西川みよ		農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年44. 8. 21	4分	2厘	350	44. 8. 21	7	182
44. 2. 21	常喜栄太郎		医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年45. 2. 12	4分	5厘	1, 000	45. 2. 12	45	356
44. 2. 25	小谷前長栄前村中		雜	坂田郡柏原村大字柏原	17年45. 2. 25	4分	5厘	230	45. 2. 25	53	360
44. 2. 27	勝栄寺 牧野久治郎		講	坂田郡柏原村大字柏原	17年45. 2. 27	4分	3厘	12	45. 2. 27	0	365
44. 3. 3	宮川志津		農	坂田郡柏原村大字柏原	17年44. 3. 13	4分	3厘	123	45. 3. 3	5	366
44. 3. 13	西村與惣五郎		農	坂田郡春照村大字村木	17年45. 3. 13	4分	5厘	160	45. 3. 13	7	366
44. 3. 23	林弥藤治		農	坂田郡春照村大字村木	半7年44. 9. 23	4分	5厘	221	44. 9. 23	5	184

44. 10. 9	常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年 45. 10. 9	4分7厘	100	1. 10. 9	5	366
44. 10. 12	松浦久雄	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 45. 10. 7	4分8厘	150	1. 10. 7	7	361
44. 10. 16	牧野文治頼権者牧野つ称	農	坂田郡柏原村大字堂谷	17年 45. 10. 16	5分	1,000	1. 10. 16	50	366
44. 10. 18	常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年 45. 10. 18	5分	100	1. 10. 18	5	366
44. 11. 20	牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 45. 11. 21	5分	200	45. 1. 4	1	45
44. 12. 9	牧野文治頼権者牧野つ称	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 45. 12. 9	5分2厘	1,000	45. 12. 9	52	426
44. 12. 16	星居徳吉、江龍清城	雑	坂田郡息長村大字寺倉	17年 45. 12. 16	5分1厘	180	45. 12. 16	9	366
44. 12. 25	加茂神社氏子総代堀江相一	神社	坂田郡東黒田村大字万藤寺	半7年 45. 12. 24	5分5厘	594	45. 6. 24	16	182
44. 12. 25	加茂神社氏子総代堀江相一	神社	坂田郡東黒田村大字万藤寺	半7年 45. 6. 24	5分	500	45. 6. 24	14	182
44. 12. 25	堀江平治	農	坂田郡東黒田村大字長岡	半7年 45. 6. 24	5分	200	45. 6. 24	6	187
44. 12. 25	常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年 45. 12. 25	5分1厘	100	45. 12. 25	5	366
44. 12. 29	堀江とみ	農	坂田郡東黒田村大字長岡	17年 45. 12. 29	5分3厘	289	45. 12. 29	15	366
44. 12. 30	山本三太郎	農	坂田郡東黒田村大字梅原	17年 45. 12. 30	5分1厘	210	大1. 12. 30	11	366
45. 1. 4	牧野孫十郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 1. 4	5分	100	大2. 1. 4	5	366
45. 1. 4	堀田茂七	農	坂田郡大原村大字市場	17年 46. 1. 4	5分	35	2. 1. 4	2	366
45. 2. 10	安藤泰一	農	美濃国安八郡大垣町	半7年 45. 8. 10	5分3厘5毛	1,000	1. 8. 10	27	182
45. 2. 12	常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年 46. 1. 20	5分2厘	1,000	1. 11. 29	44	291
45. 2. 12	常喜栄太郎	医	坂田郡東黒田村大字堂谷	17年 46. 2. 10	5分2厘	1,000	1. 2. 12	52	368
45. 2. 13	畑中とみ	医	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 2. 13	5分2厘	80	1. 5. 1	5	443
45. 2. 24	殿村木尚太	医	坂田郡柏原村大字柏原	半7年 45. 8. 24	4分5厘	150	45. 8. 24	3	182
45. 2. 25	藤栄寺講幹事小嶋又市	講	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 2. 25	5分	49	46. 2. 25	2	366
45. 3. 1	山崎多平	農	美濃国不破郡今須村大字今須	17年 46. 3. 1	5分1厘	1,100	2. 3. 1	56	365
45. 3. 13	西村與惣五郎	農	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 3. 13	5分	160	2. 3. 13	8	365
45. 3. 14	山崎久右衛門	農	美濃国不破郡今須村大字今須	17年 46. 3. 14	5分1厘	250	2. 3. 14	13	365
45. 3. 16	西村定治郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年 45. 8. 16	5分	90	1. 8. 30	2	167
45. 3. 20	牧野とみ	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 3. 20	5分1厘	248	2. 3. 20	13	365
45. 3. 23	常喜栄太郎	医	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 3. 23	5分8厘	400	2. 3. 23	23	365
45. 3. 28	上村津江	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 45. 7. 1	5分	20	45. 7. 1	0	95
45. 3. 29	藤栄寺講幹事小嶋又市	講	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 3. 29	6分1厘	15	2. 4. 29	1	396
45. 3. 30	北川九郎平	高	犬上郡彦根町上川原	半7年 45. 9. 30	6分1厘	3,775	1. 9. 30	119	275
45. 4. 26	堀江すて 牧野つ称	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 4. 26	5分	57	2. 4. 26	3	365
45. 5. 12	畑中太喜雄	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 5. 12	5分	200	2. 5. 12	10	365
45. 5. 15	上野えい	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 5. 15	5分5厘	90	2. 5. 15	5	365
45. 5. 16	日比慶治郎	教員	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 5. 15	5厘	504	2. 5. 1	25	350
45. 5. 29	保知のえ	農	坂田郡春照村大字柏原	17年 46. 5. 29	5分1厘	314	2. 5. 29	16	365
45. 5. 31	宮川津称	農	坂田郡春照村大字清水	17年 46. 5. 31	5分1厘	351	2. 5. 31	18	365
45. 5. 31	堀江すて担任人牧野久治郎	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 5. 31	5分	68	2. 5. 31	3	365
45. 6. 18	西村與惣五郎	農	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 6. 16	5分2厘	100	2. 6. 15	5	362
45. 6. 25	松浦久雄	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 6. 25	5分5厘	100	2. 6. 25	6	365
45. 6. 28	牧野忠吉	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 6. 26	5分2厘	50	2. 6. 26	3	363
45. 6. 29	宮川津称	農	坂田郡春照村大字清水	17年 46. 6. 25	5分2厘	93	2. 6. 25	5	361
45. 7. 2	堀江平治	農	坂田郡東黒田村大字長岡	半7年 45. 12. 29	5分2厘	200	1. 12. 29	5	180
45. 7. 5	上村津江	農	坂田郡柏原村大字柏原	半7年 46. 1. 1	5分	20	1. 12. 29	0	173
45. 7. 9	葉菜丹六	農	坂田郡春照村大字村木	17年 46. 7. 9	5分2厘	100	2. 7. 9	5	365
45. 7. 15	山根 基	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 7. 15	5分8厘	117	2. 7. 16	7	366
45. 7. 27	牧野とみ	農	坂田郡柏原村大字柏原	17年 46. 7. 25	5分2厘	430	2. 7. 25	22	363
計						209,002			7726

平成24年11月30日 発行

専修大学商学研究所報

第44巻 第5号

発行所 専修大学商学研究所
〒214-8580
神奈川県川崎市多摩区東三田2-1-1

発行人 渡 辺 達 朗

製 作 佐藤印刷株式会社
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前2-10-2
TEL 03-3404-2561 FAX 03-3403-3409

Bulletin of the Research Institute of Commerce

Vol. 44 No.5

November. 2012

On the Deposit of Kashiwabara Bank in Shiga Prefecture, 1901~1912

SHOICHI ASAJIMA

Published by
The Research Institute of Commerce
Senshu University

2-1-1 Higashimita, Tama-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa, 214-8580 Japan